

モバイルビデオレコーダー

取扱説明書

SRM-872

モバイルビデオレコーダー 取扱説明書

Copyright

©2015 Hanwha Techwin Co., Ltd. All rights reserved.

商標について

本書に記載されている各商標は登録済みです。本書に記載されている本製品の名称およびその他の商標は、各社の登録商標です。

制約について

本書の著作権は留保されています。どのような状況であっても、本書の一部または全体を複製、配布または変更するには、正式な認可が必要です。

免責事項について

Hanwha Techwin は取扱説明書の完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。

この取扱説明書の使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。本仕様は製品の性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

◇設計および仕様は予告なく変更する場合があります。

◇初期の管理者 ID は「admin」です。初回ログイン時にパスワードを設定する必要があります。

無線ルーターで製品を使用する場合は、ご使用の無線ネットワークのパスワードを設定してください。パスワードで保護されていない、またはデフォルトの無線ルーターパスワードのまま使用すると、ビデオデータが潜在的脅威にさらされることになります。

個人情報を安全に保護し、情報窃盗の被害を防ぐため、3か月に1回パスワードを変更してください。

パスワードの管理ミスによるセキュリティ及びその他の問題は、ユーザー側の責任となりますことを御了承ください。

概要

安全に関する重要な注意事項

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。以下に掲載されている安全に関する注意事項をすべて守ってください。この取扱説明書は、今後参照できるように保管してください。

- 1) 取扱説明書をお読みください。
- 2) 取扱説明書を保管してください。
- 3) すべての警告に注意してください。
- 4) すべての指示に従ってください。
- 5) 本機器を水の近くで使用しないでください。
- 6) 手入れは、乾いた布のみを使用してください。
- 7) 通気口を塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
- 8) ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブその他の熱を発する装置（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
- 9) 分極プラグまたは接地プラグの安全機能を無効にしないでください。極性プラグにはブレードが2つあり、一方の幅が他方より広くなっています。接地プラグにはブレードが2つと第3のアース芯があります。幅の広いブレードまたは第3の芯は安全のために同梱されています。同梱のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談して旧式コンセントの交換を行ってください。
- 10) 電源コードが踏まれたり、特にプラグ、マルチタップ及び機器から出てくる箇所ではねじれたりしないようにしてください。
- 11) メーカーが指定した付属品のみ使用してください。
- 12) 製造元または製品販売者によって指定された台車、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルを必ず使用してください。カートを使用するときは、カートと本機の移動に注意し、転倒によるけががないようにしてください。
- 13) 雷が発生しているときや長期間使用していない場合は、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 14) 資格のあるサービス担当者に、すべてのサービスを受けてください。装置は、液体をこぼした、または物体が装置に陥っている破損しているように、電源コードやプラグのように、何らかの原因で破損した場合は修理が必要とされ、装置が雨や湿気にさらされた、正常に動作しません、または削除されました。



標準承認事項



本機は試験を経て、FCC の規定に適合していることが確認されています。これは、本機が商用環境で操作される場合に、危険な干渉に対して適切な保護を提供するための制限です。本製品は、無線周波エネルギーを発生、使用または放射する可能性があり、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って設置、利用する場合はその限りではありません。住宅地域で本機器を操作すると、有害な電波障害が生じる可能性があり、その場合には、ユーザーが自己負担で電波障害を補正する必要があります。

ご使用の前に

このマニュアルは、製品を使用するために必要な動作情報を提供し、各構成部品について説明、その機能だけでなく、メニューやネットワーク設定が含まれています。

次の通知に注意してください：

- Hanwha Techwin は、このマニュアルの著作権を保持しています。
- このマニュアルは、Hanwha Techwin の事前の書面による承諾なしにコピーすることはできません。
- 我々は、すべてまたは非標準製品または本マニュアルに記載されている命令の違反の使用により curred に製品への損害について責任を負いません。
- 我々は、すべてまたは非標準製品または本マニュアルに記載されている命令の違反の使用により curred に製品への損害について責任を負いません。
- それは、この製品に準拠している場合は、ハードディスクドライブまたは外部ストレージ(USB メモリや USB HDD 等)を追加する前に、確認してください。互換性リストについては、販売店にお問い合わせください。
- 使用して工業用「マイクロ SD」(含まれていません)。これは、HDD に低い温度での SD 上のデータおよび変更を保存します HDD が動作温度に達したとき。
- 天に向かって指している車両のうち、均等に GPS アンテナを配置します。アンテナの設置が正確である場合には、不安定なデータを受信することができます。移動しながら、30 メートルを停止したときに、通常の GPS 誤差距離は 16 メートルです。

警告

注意

- 拡張された電源コードのインストールの前に電源をオフには、AWG(アメリカンワイヤーゲージ)18 以上の厚を使用しています。
- GPS アンテナを設置する場合は、車外の平らな場所に取り付けます。GPS アンテナは、空に向かって指している必要があります。不安定なデータが発生する可能性があり不適切なインストールが受信されます。移動しながら、30 メートルを停止したときに、通常の GPS 誤差距離は 16 メートルです。車両購入に GPS アンテナを設置し、「アクティブアンテナ(2.85V)」を使用する場合。
- 常に車両用電池。電源「常にオン」電源に接続するときにヒューズが多分壊れ。
- バッテリーの状態が悪い場合は、バッテリーのライフサイクルが短くなる場合があります。
- バッテリーが正しくないと交換すると、爆発の危険があるかもしれません。地域の環境法による使用済みの電池は廃棄。

システムのシャットダウン

電源を切る製品が動作中、またはハードドライブまたは製品への損傷や故障の原因となることがあり、不適切な行動を取って下にある間。

システム障害が発生した場合に電源を遮断するには、電源ケーブルを抜いてください。

あなたは、任意の予期せぬカトップページによる被害を防止するために、UPS システムをインストールすることもできます。(UPS に関するご質問は、当社の UPS の販売店にご相談ください。)

動作温度

本製品の動作保証温度範囲は-25° C～50° C(-13° F～122° F)。

本製品は、未あればすぐに保証温度以下に長期間保管した後、正常に動作しない場合があります。

低温で長期間保存されているデバイスを使用する前に、生成物がで放置します

期間の室温。

特にのための内蔵HDD製品で、その保証温度範囲は0° C～60° C(32° F～140° F)です。

同様に、ハードドライブは、保証温度以下で動作しない場合があります。

イーサネット・ポート

この機器は、屋内での使用のためのものであり、すべての通信配線は屋内での使用に制限されています。

セキュリティ上の注意事項

初期の管理者 ID は「admin」ですと、初めてログインするときにパスワードを設定する必要があります。本製品に difused 無線ルータのパスワードを設定します。れていないパスワードで保護するか、潜在的な脅威にビデオデータを公開することがあり、デフォルトの無線ルーターのパスワードを使用して。あなたのパスワード、個人情報 protect ごとに 3 ヶ月の停止を変更し、情報フィートによる損傷を防ぐためにしてください。

、それはセキュリティとパスワードの管理ミスによって引き起こされる他の問題については、ユーザーの責任であることに注意してみてください。

Contents

p3	概要
8	製品の特徴
9	パッケージ内容
10	前面図と背面図及び詳細事項
12	I/O ボックス
13	コントロールボックス
p14	設置
14	ブラケットを分解する
14	製品を組み立てる
15	I/O 及びコントロールボックスを設置する
16	車両の設置
p17	監視
	システムの開始/終了
17	ログイン
17	システムのシャットダウン
18	ライブモニタリング画面
19	OSD アイコン
19	ライブのコンテキストメニュー
20	ライブ画面分割
20	単一チャンネルライブビュー
20	バックアップ
21	ライブモニタリング
21	録画状況
21	位置情報を表示する
22	緊急録画
22	検索モードへの移動
22	設定メニューの入力
p23	システム設定
23	システム情報
26	ユーザー設定
28	機器
32	プロファイル設定
33	オーディオ
34	アラーム
35	ディスプレイ
37	デジタルサイネージ
38	録画設定
40	ネットワーク
45	イベント

p47	再生(検索)
p49	バックアップ
p50	ウェブクライアントアクセス
p55	デジタルサイネージメーカー
p56	付属資料
56	システム仕様
58	初期設定
61	I/O ボックスの設置
62	接続ピンマップ
65	よくあるご質問

製品の特徴

- 組み込み Linux システムにより、究極の信頼性をご提供
- 専用のデータベース構造により安定性が向上
- CMS(集中監視システム)によるサポート
- NVR、CMS 及び Web ビューアーに同一の UI を使用
- Web 監視、検索及び設定が利用可能
- 埋め込み型のメディアプレーヤーでバックアップ再生
- マウス及び外部記憶装置用の USB をサポート
- HDD/SSD 及び Micro SD をサポート
- モバイルデバイス (iPhone 及び Android) をサポート
- デジタルズーム
- 車両設置用のコンパクトサイズ
- USB メモリスティック等のバックアップ記憶装置をサポート
- GPS をサポート/ グロナス衛星ナビゲーションシステム。安定した温度制限内の工業規格
- 内蔵型の電力サポート (PoE)
- 振動及び衝撃試験に軍製品レベルの試験を適用
- I/O ボックス (センサー、アラーム、G センサー、ステータス LED)
- I/O ボックス内の G センサーによるイベント検知
- コントロールボックス (IR 入力、緊急ボタン、ステータス LED、オーディオ出力)
- 対応カメラ: SNV-6012M、SNV-5010、SNF-7010、SNF-8010

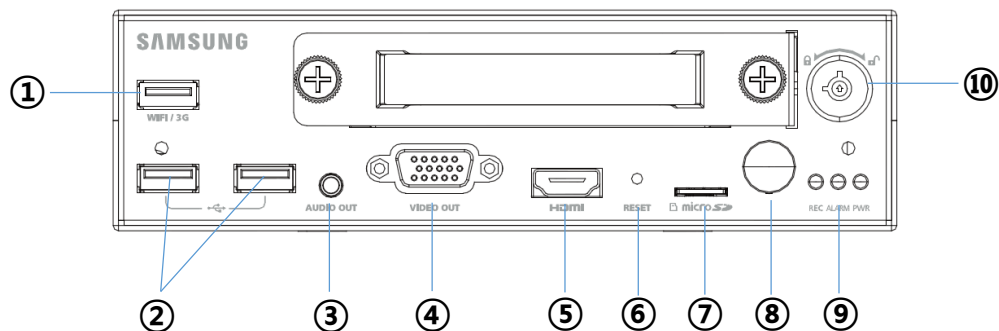
パッケージ内容

下記のコンポーネントが製品ボックスに含まれています。

		
NVR 本体	I/O ボックス	コントロールボックス
		
電源ケーブル(各 1)	RS232 接続ケーブル(各 2)	RJ45UTP ケーブル(各 2)
		
GPS アンテナ	リモートコントロールとバッテリー	CD(取扱説明書, デジタルサイネージメーカー)
		
クイックガイド	設定固定ネジとキー	リアカバー

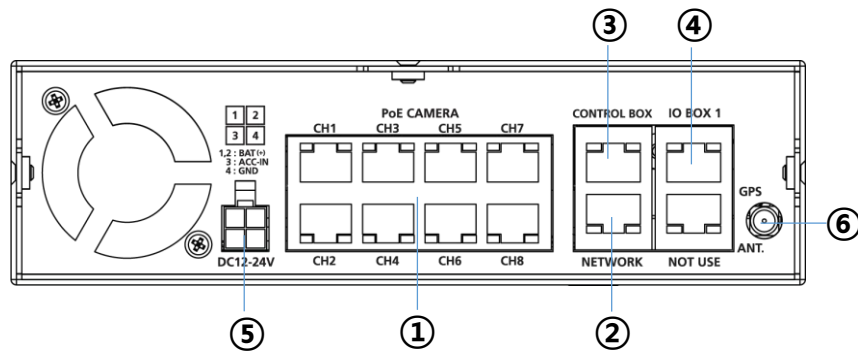
前面図と背面図及び詳細事項

前面



名称		説明
1	WiFi / 3G USB	Wi-Fi または 3G 通信 (オプション) を使用するとき、USB モジュールを接続します。
2	USB ポート	マウスの接続または外部記憶装置用に使用します。
3	音声出力	ライン出力としての音声出力です。
4	ビデオ出力	VGA モニターを接続し、ディスプレイを表示します。
5	HDMI 出力	HDMI モニターを接続します。
6	リセットスイッチ	システムを再起動するとき使用します。
7	Micro SD スロット	記録用に Micro SD を挿入します。
8	IR センサー	リモートコントローラーから信号を受信します。
9	LED	MVR の状態を表示します。
10	ロックキー	HDD デバイスをロックします。これをロックしてシステムを開始する必要があります。

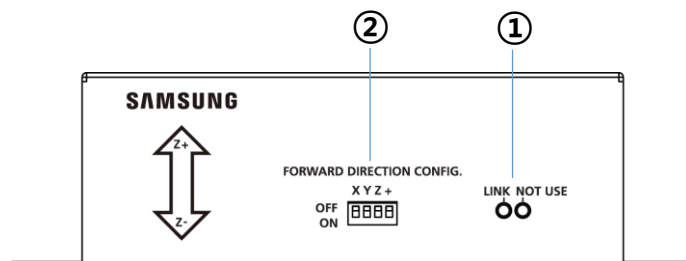
背面



名称		説明
1	PoE 対応カメラ	IP カメラを接続します。PoE IP カメラを使用するとき、システムが Ethernet 経由でシステムサポートを強化します。
2	ネットワーク	CMS のネットワークケーブルを接続します。
3	コントロールボックス	コントロール Box に接続します。
4	I/O ボックス 1	コントロール Box に接続します。
5	PWR	車両からの電源供給を連結します。
6	GPS	GPS アンテナ (SMA タイプ) に接続します。

I/O ボックス

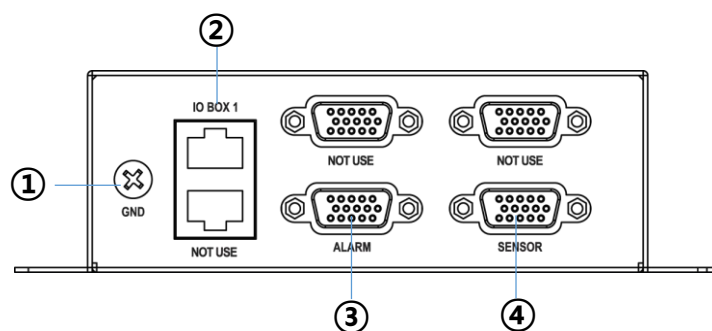
前面



名称		説明
1	LED ディスプレイ	下記の状態を表示します。 -リンク:I/O ボックスの接続状態を示します。
2	ディップスイッチ	車両の移動方向を設定します。

*その他の詳細は、61 ページ「I/O BOX 設置」にあります。

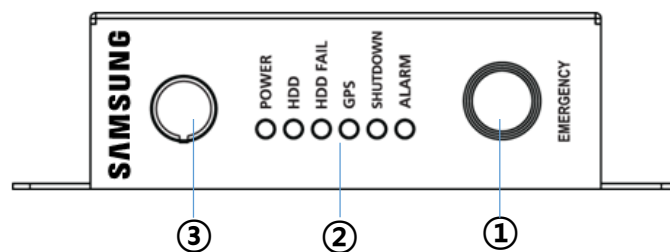
背面



名称		説明
1	アース接続	アース接続です。車両本体に接続します。
2	I/O ボックス 1	本体のポートに接続します。
3	アラーム	外部デバイスへのアラーム出力を接続します。追加の電源が必要です。(オープンコレクタタイプ)
4	センサー	付属のケーブルで外部機器に接続します。イベント信号は、NVR に送信することができます。

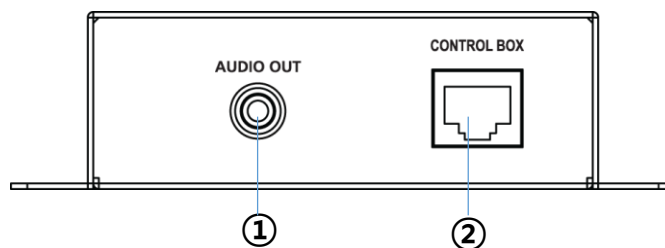
コントロールボックス

前面



名称		説明
1	緊急	このボタンで緊急録画を開始します。
2	LED ライト	電源
		HDD
		HDD エラー
		GPS
		シャットダウン
		アラーム
3	IR 受信ポート	IR 信号をリモートコントローラーから受信します。

背面

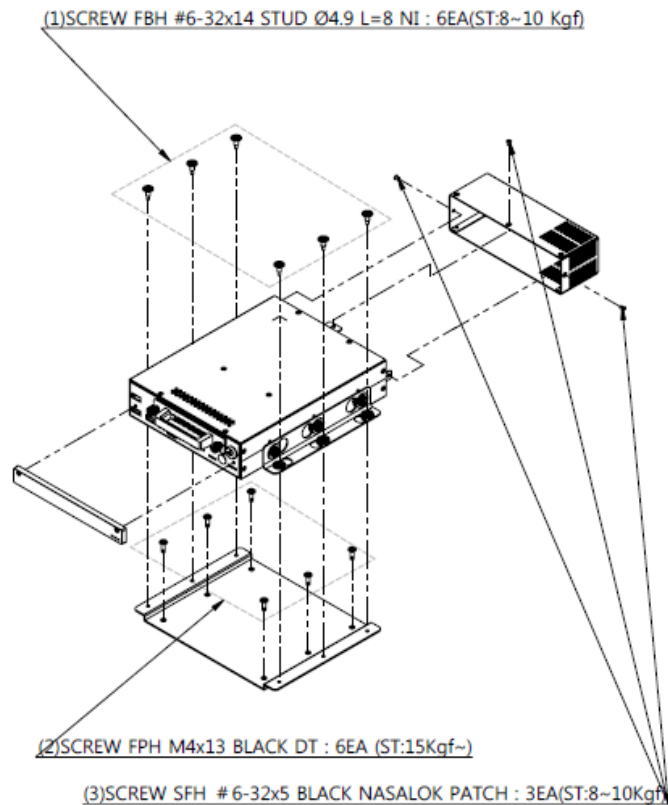
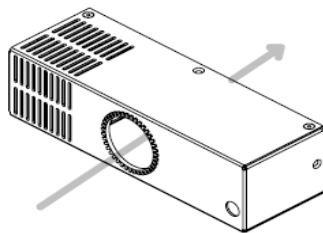


名称		説明
1	オーディオ出力	オーディオライン出力です。
2	コントロールボックス	本体のコントロールポートに接続します。

設置

ブラケットを分解する

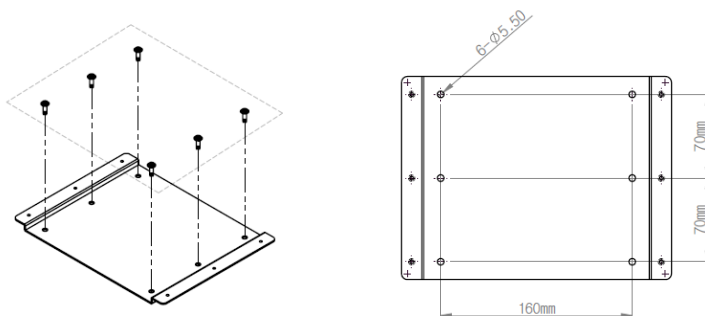
1. ボックスを開いて、製品を取り出します。そして、絵のネジ(1)とボトムブラケットを分離。
2. ボトムブラケット'を平らな場所に置き、本体とブラケットを写真のように、ねじ(2)で組み立てます。
3. 写真のように、リアカバーと本体をねじ(3)で組み立てます。下記の写真のように、ケーブルがリアカバーの穴を通過するようにする必要があります。
4. しっかりとケーブルを固定します。



Screw Torque = ST (Kgf)

製品を組み立てる

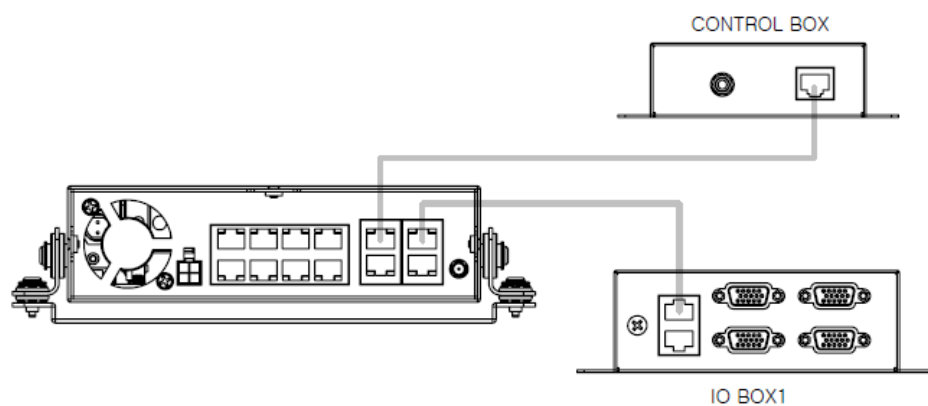
下記に表示されている通り、ねじ 6 本を使用し、設置場所にブラケットを設置します。



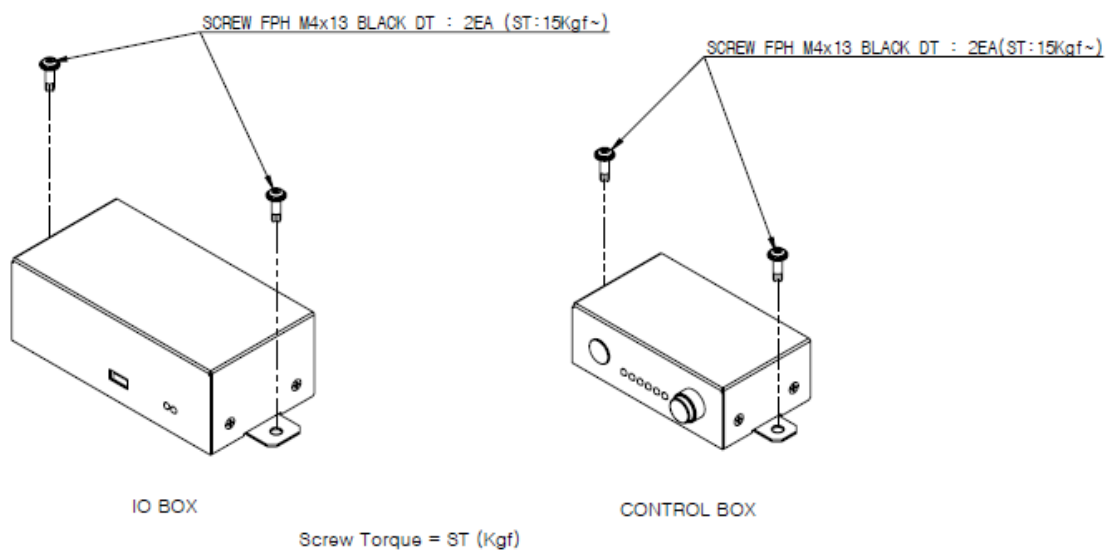
(ST: 15kgf 以上).

- ST = ねじ締め強度
- 推奨のトルクにねじを締めます。

I/O 及びコントロールボックスを設置する



* 上図のように、I/O ボックスとコントロールボックスを同梱のケーブル接続します。



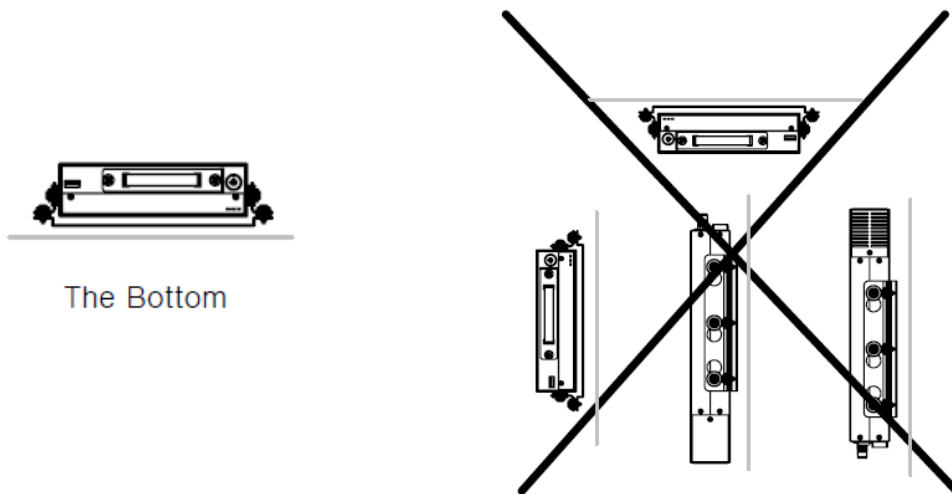
- ST = ねじ締め強度
- 推奨のトルクにねじを締めます。

車両の設置

底部にインストールすると、6本のネジで底部に設置されている取付板にメインユニットのブラケットを固定します。

注意：一番下にインストールされているときは、HDD ショックの問題が発生することがあります。ネジのトルクは、前のページの写真を参照してください。*ねじの ST=トルクを。

各ツールは、トルクが異なるた、あなたはときにインストールトルクを導い従うべきです。



監視

システムの開始/終了

車両にインストールする前に、ユーザはまず、システムのセットアップを設定する必要があります。VGA または HDMI のモニターを接続します。モニターがあるため、解像度、プレスの表示と 5seconds 用リモコンの「ズーム」キーを押したままにします。しない場合(これは、システムの解像度を自動的に調整します)。

ログイン

1. システムに電源を接続します。
2. システムに初期画面が表示されます。初期化前です。
3. ログイン画面が表示されます。
4. ログインするには、'管理 (admin)'を選択し、'OK (OK)'を押します。今回設定するパスワードはありません。
*パスワードを設定した場合、パスワード欄をクリックし、仮想キーボードを使用してください(画像参照)。
5. システムログインは'管理者 (Administrator)'として行います。



備考:パスワードは0から9の数字の組み合わせによる最大8桁の数字に設定できます。特殊文字(& # < > ` ~)は使用できません。新しいパスワードを入力するには、'メニュー (Menu) ->システム (System)->ユーザー (User)'のページへ行きます。



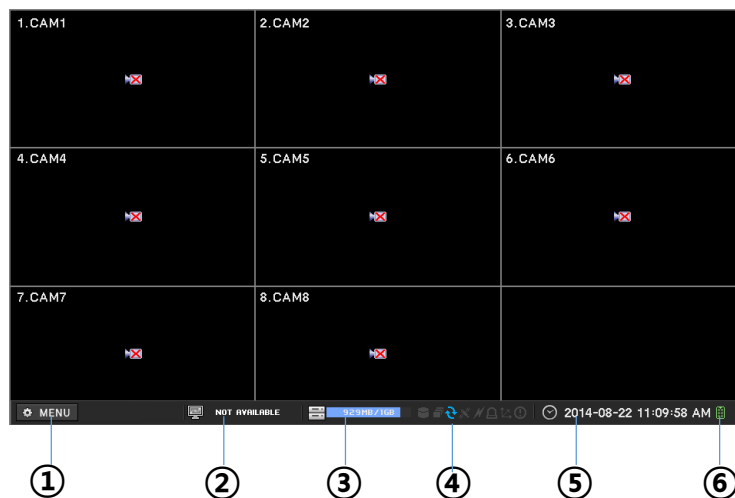
システムのシャットダウン









1. メニュー (Menu)を押し、'シャットダウン (Shutdown)'システムを選択します。



ライブモニタリング画面

コントロールボックスの VGA や HDMI 出力を介してシステムの監視を一度車両に搭載。



名称		説明
1	メニュー	NVR メニューを開きます。
2	デジタルサイネージ	デジタルサイネージのステータスを表示します。
3	HDD の状況	HDD の使用状況がパーセント表示されます。
4	ステータスアイコン	 データをアーカイブ化するとき ON になります。
		 シーケンス化モードが機能しているとき ON になります。
		 HDD が上書きモードに設定されたとき ON になります。
		 衛星ナビゲーションシステムデータ
		 接続されているシステムが ON になります。
		 アラームが作動しているとき ON になります。
		 G センサーがイベントを検知したとき ON になります。
		緊急録画中に ON になります。
5	時刻と日付の情報	時刻と日付の情報が表示されます。
6	リモートコントローラー	IR リモートコントローラーが作動中に ON にします。リモートコントローラーを使えば、システム ID が '0' に設定されている場合、システム ID にかかわらず、システムを制御できます。

OSD アイコン

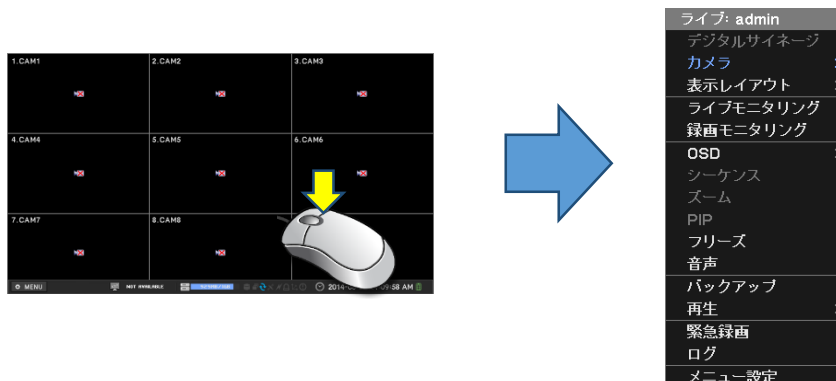
下記のステータスアイコンは各チャンネルに表示される場合があります。

名称	説明	名称	説明
	録画なし(緑)		プレイベント録画(青)
	録画(赤)		モーション検知
	緊急録画		センサー検知
	イベント録画(赤)		IP カメライベント検知
	高解像度再生*		

- 上部に下記の録画サイズで 1fps の速度のときに表示されます。(4 分割 1280×720 60fps、9 分割 1280×720 30fps)

ライブのコンテキストメニュー

コンテキストメニューを表示するには、マウスの右ボタンを押します。頻繁に使用する機能は、このメニューボックスにあります。



ライブ画面でマウスを右クリック

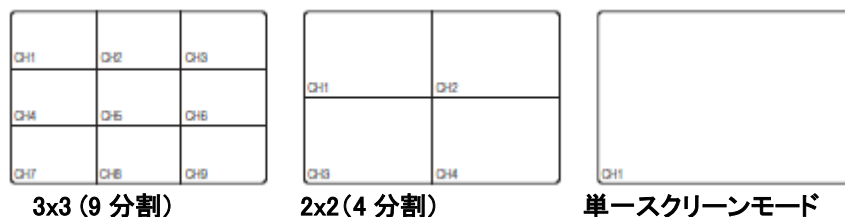
	name	Description
1	デジタルサイネージ	デジタルサイネージを開始します。
2	カメラ	カメラを選択して表示します。
3	表示レイアウト	画面モードを選択します。
4	ライブモニタリング	IP カメラ画像を表示します。
5	録画モニタリング	実時間の録画状況を表示します。
6	OSD	OSD と場所の情報が画面上に表示されるべきかどうかを選択します。
7	シーケンス	ライブチャンネルを配列します。
8	ズーム	デジタルズームを実行します。単一チャンネルモードでのみ利用可能です。

9	PIP	PIP 機能を実行します。単一チャンネルモードでのみ利用可能です。
10	フリーズ	現在の画面を停止させます。
11	音声	オーディオチャンネルを選択します。
12	バックアップ	録画したデータを再生します。
13	再生	検索再生モードへ移動します。
14	緊急録画	緊急録画を開始します。
15	ログ	現在のシステムログが表示されます。
16	設定	設定メニューを開きます。

*ライブモードでのオーディオサウンド出力は、'メニュー-オーディオ(Menu-Audio)'の場合のチャンネル設定を基にしています。これは現在選択しているチャンネルと同一ではありません。

ライブ画面分割

ライブスクリーンが 9 分割 (3×3)、4 分割 (2×2) そして単一画面モードで表示されます。



レイアウトを変更するには、ライブモードでマウスを右クリックし、カメラまたはレイアウト (Layout) を選択します。

表示レイアウト	>	2 x 2
ライブモニタリング		✓ 3 x 3
録画モニタリング		次へ

単一チャンネルライブビュー

選択したチャンネルを単一の全画面として表示します。

1. マウスを任意のチャンネルへ動かし、マウスの左ボタンをダブルクリックすると、単一選択チャンネルが表示されます。
2. リモートコントローラー上の任意のチャンネルを押すと、選択したチャンネルが表示されます。
3. ライブビュー上でマウスを右クリックして'カメラ (Camera)'を選択し、任意のチャンネルを選択します。
4. もう一度ダブルクリックすると、前のモードへ戻ります。

バックアップ

1. リモートコントローラー上の'バックアップ (backup)'ボタンをクリックします。
2. マウスを右クリックし、コンテキストメニューを開きます。
3. メニューの'バックアップ (Backup)'を選択し、アーカイブ保存するための保存領域と期間を設定します。
4. '開始 (start)'を押し、バックアップを取ります。

ライブモニタリング

ライブビュー上の'ライブモニタリング (Live Monitoring)'を選択します。接続したカメラのライブステータス及び転送ステータスが表示されます。

ライブモニタリング

ステータス				
1	-	-	-	-
2	H.264	1280x720	30fps	2012 Kbps
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	H.264	1280x720	30fps	2012 Kbps
8	-	-	-	-

閉じる

録画状況

ライブビュー内の'録画モニタリング (Record Monitoring)'を選択します。接続したカメラの録画ステータス及び転送ステータスが表示されます。

録画モニタリング

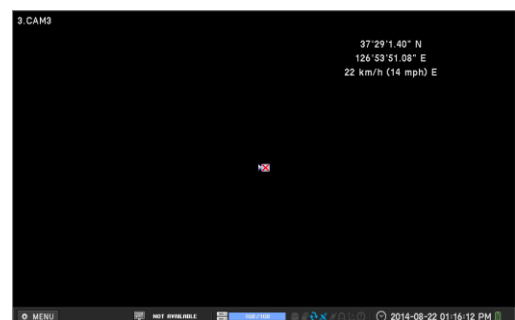
ステータス				
1	H.264	1280x720	30fps	2012 Kbps
2	H.264	1280x720	30fps	2012 Kbps
3	H.264	1280x720	30fps	2012 Kbps
4	H.264	1280x720	30fps	2012 Kbps
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-

閉じる

位置情報を表示する

ライブメニュー画面では、「OSD」を選択し、「GPS 情報」。その後、受信した位置情報は、ライブ画面の右上隅にあります。

* 情報が受信されない場合、それは表示されません。.



緊急録画

ライブモードで緊急録画するには

1. コントロールボックス上の'緊急録画 (Emergency Rec)'ボタンを押します。赤色になります。
2. リモートコントローラー上の'緊急録画 (E.REC)'ボタンを押します。
3. またはコンテキストメニューを使用(マウスを右クリック)して、'緊急録画'を選択します。

検索モードへの移動

1. ライブモード内でマウスを右クリックし、コンテキストメニューを開きます。
2. '再生 (Playback)'モードを選択します。

設定メニューの入力

1. リモートコントローラー上の'メニュー (Menu)'ボタンをクリックします。
2. 'メニュー (Menu)'ボタンをクリックして設定モードに入ります。
3. またはコンテキストメニューを使用して'設定メニュー (Setup Menu)'を選択します。

システム設定

システム情報

通常の情報設定

1. メニューを押し、システム (SYSTEM) -> 情報 (Information) へ移動します。
2. NVR 名を入力します。(複数機器の使用時に、より容易に認識できるようになります。)
3. 'リモートコントローラー (Remote Controller)' 上の ID を設定します。ユーザーは ID を変更することにより、単一のリモートコントローラーで複数の NVR を制御できます。
4. あなたは、位置情報を受信するときに使用する衛星ナビゲーションシステムを選択することができます。
* GPS (全地球測位システム) とグロナスをサポートします。
5. ユーザーはエクスポートまたはインポートを行うことができ、初期のシステム設定を設定できます。(エクスポートまたはインポートをするには、USB メモリが必要です。)
6. '初期設定 (Default)' ボタンを使うと初期状態に戻ります。
* 日付と時刻、ユーザー情報。ディスプレイの解像度は、言語、ネットワーク設定 (IP アドレス、DDNS) が初期化されません。
7. 'OK (OK)' を押し、変更点を保存します。

システム：情報

システム 車両

NVR名：

MACアドレス： 00:E0:4C:E0:2D:44

バージョン： 0.0.1-1410231 アップグレード

リモコンID： 0

GNSS： GPS

システム設定：

車両情報の入力

1. メニューを押し、システム (SYSTEM) -> 情報 (Information) へ移動します。
2. 必要情報の入力
3. シャットダウン遅延：イグニッションがオフになった後、システムは設定時刻まで待機し、安全にシステムをシャットダウンします。
4. 'OK (OK)' を押し、変更点を保存します。

システム：情報

システム 車両

会社名：

車両メーカー：

車両モデル：

登録番号：

ライセンス：

運転者名：

シャットダウン遅延時間(分)： 5

システムのアップグレード

システムファームウェアをアップグレードします。

1. メニューを押し、'システム (SYSTEM) ->情報 (Information)'システムページへ移動します。
2. 更新ファイルを含む USB メモリを挿入します。
3. '更新 (Update)'ボタンを押し、ファイルを選択します。
4. 選択したファイルのアップグレードを開始します。
5. アップデートが完了すると、システムは自動的に再開します。




備考: アップデート中は USB や電源を取り外さないでください。

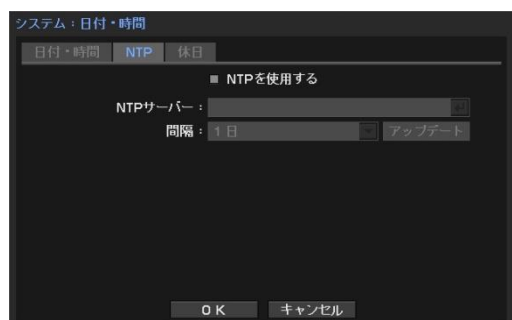
日付及び時刻の設定

1. メニューを押し、システム (SYSTEM) ->日付と時刻 (Date&time)へ移動します
2. タイムゾーンを設定し、'サマータイム (Daylight saving time)'オプションを選択します。
* 開始日及び終了日を設定します。
3. ディスプレイフォーマットの選択で日付と時刻を設定します。
4. 'OK (OK)'を押し、変更点を保存します。



NTP setting

1. 日付と時刻設定メニュー上の 'NTP (NTP)' を選択します。
2. 'NTP の使用 (Use NTP)' オプションにチェックを入れます。
3. 時刻サーバーを入力するため、 を押します。
4. 時刻サーバー名を仮想キーボードで入力します。
5. 更新インターバルを設定し、更新ボタンを押します。




*インターネットに接続している必要があります。

備考: NTP は NVR 操作にとって必須ではありません。時刻の同期は、時刻同期サーバーの重いトラフィックまたは遅延が原因で完了しない場合があります。

休日設定

特定の日または日々を休日に特定し、別々の録画スケジュールを適用します。

1. 日付と時刻設定上の休日タブメニューへ移動します。
2.  ボタンを押し、日付を設定します。
3. 'OK (OK)' を押し、設定を適用します。

備考: 休日は毎年同じ日ではない場合があります。ユーザーは毎年更新が必要です。



ユーザー設定

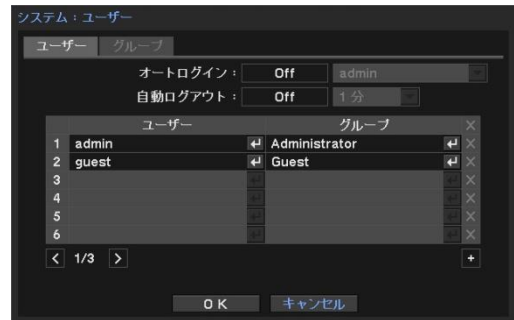
ユーザーは新規ユーザー及びグループのパーミッションを定義できます。

新規ユーザーの追加

1. メニューを押し、システム (SYSTEM) ->ユーザー (User)へ移動します。
2. ボタンを押し、新規ユーザーを追加します。
3. ユーザー名を仮想キーボードで入力し、ユーザーグループを選択します。
4. 新規ユーザー用のパスワードを設定します。

*'自動ログイン (Auto Login)': 選択されたユーザーで自動的にログインします。

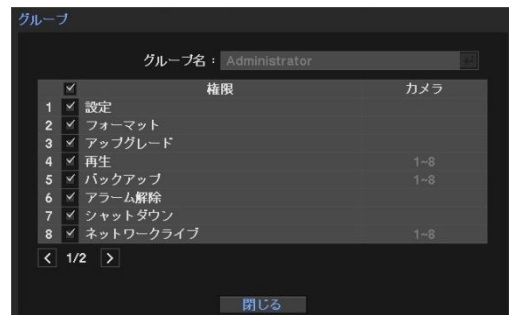
*自動ログイン (Auto Login)': 選択されたユーザーで自動的にログインします。



新規グループを追加し、パーミッションを設定します。

管理者は各グループ上で権限を定義できます。(ユーザーごとの設定はできません)

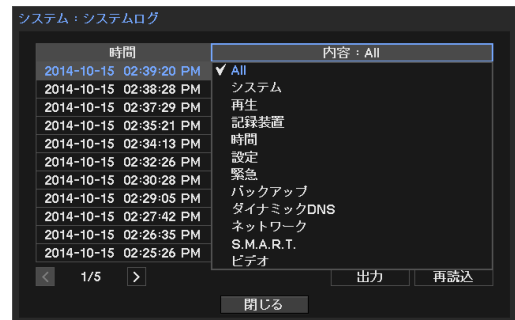
1. 'システムユーザー (System-User)'メニューへ移動し、'グループ (Group)'を選択します。
2. ボタンを押します。
3. 新規グループ名を入力します。
4. 新規グループのパーミッションを設定します。各権限上でカメラチャンネルを設定します(必要な場合)。
5. 'OK (OK)'をクリックし、変更点を保存します。



システムログ

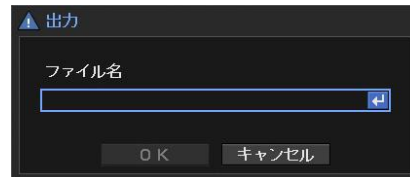
システムログはすべて、このページで検索できます。

1. メニューを押し、'システム (SYSTEM) ->システムログ (SYSTEM Log)'ログへ移動します。
2. 最新のログを閲覧するには、'再読み込み(Reload)'ボタンを押し、ログを更新します。[↺]ボタンを使用し、次のページへ移動します。



ログファイルをエクスポートするには

1. USB メモリを準備します。
2. USB をシステムに挿入または接続し、'システムログ (System Log)'ページへ移動します。
3. 'エクスポート (Export)'ボタンを押します。
4. ファイル名を設定し、'OK' (OK)ボタンを押します。




備考: ログファイルのエクスポートは csv ファイルフォーマットで行われます。

機器

このメニューでは、カメラ、音声及びアラーム設定を設定します。

カメラのタイトルを変更する

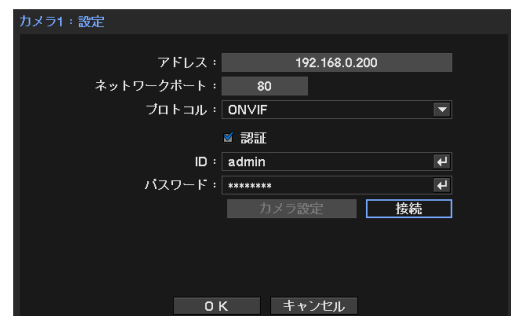
1. メニューを押し、'デバイス (DEVICE) ->カメラ範囲 (Camera page)'へ移動します。
2. カメラを選択し、を押してタイトルを変更します。
3. 仮想キーを使用し、新規カメラ名を設定します。



IP カメラ設定

カメラの IP 情報を入力し、認証をクリックし、動作ステータスを確認します。

1. カメラメニューの'IP アドレス (IP Address)'を押します。
2. 目的のプロトコルタイプの「ONVIF」または「SUNAPI」を選択します。
* SUNAPI(サムスンがネットワーク API を統一):
制御するための完全な単一のインタフェースを提供し、サムスンテックウインの専用のプロトコルで、ビデオセキュリティシステムに接続されたネットワークを構成する様々な製品をセットアップする。
3. 任意の IP カメラの IP ポート及び ID/パスワードを入力します
4. '認証 (Authentication)'をチェックし、'接続 (Connect)'を押し、IP カメラの接続状況を確認します。
5. 'ログイン (Log in)'のメッセージが出た場合、正常に接続されたという意味です。失敗した場合、もう一度情報を確認します。
6. 'OK (OK)'を押し、情報を保存します。



Camera Features Settings

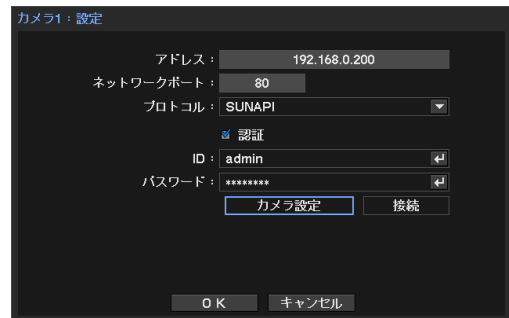
選択したカメラのライブ映像を見ながらカメラを設定するには、「カメラ設定」ボタンを押します。

*あなただけの Sunapee のプロトコルに接続されたカメラの機能を設定することができます。

*カメラの設定の詳細については、カメラのユーザーマニュアルを参照してください。

*設定と運用のスペック各カメラによって異なります。

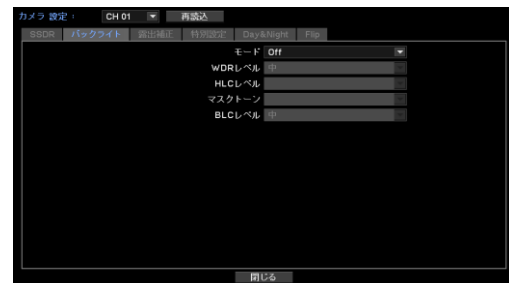
*この機能は、一部の機種でサポートされていません。



1. SSDR: 暗い部分と明るい部分との間に有意差がある場合、領域全体の明るさのレベルを維持するために、暗い部分の輝度を増加させる。モードは、レベルは、D レンジを設定することができる。



2. バックライト: あなたは明暗両方の領域を表示することができます。モード、WDR レベル、HLC レベル、マスキートン、及び BLC のレベルを設定することができる。



3. 露出: あなたのカメラの露出を調整することができます。明るさ制御、シャッター、アンチフリッカー、SSNR、感度アップ、および利得を設定することができます。



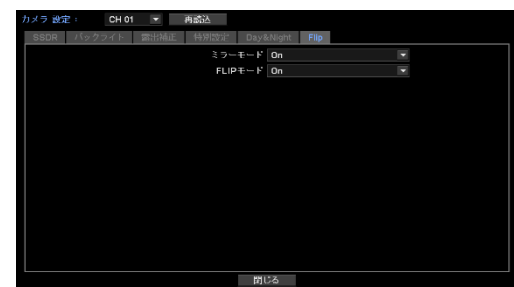
4. 特別:シャープネス、ガンマ、色、fog除去、及び(手ぶれ補正)ISを設定することができます。



5. デイ/ナイト:あなたは色やコントラストを調整するモードを変更することができます。モード切り替え時間、アラーム時刻、アラーム入力/出力、および活性化時間を設定することができます。



6. フリップ:ミラーフリップモードを設定することができます。



カメラの設定を終えた後、前の画面に移動するには「閉じる」ボタンをクリックします。

ライブプロフィール

1. ‘デバイス (Device)→カメラ (Camera)→ライブプロフィール (Live profile)’ のページへ移動します。
2. ここでは、接続したカメラのプロファイルが表示されます。ユーザーは各カメラのプロファイルを選択し、利用可能なカメラのコーデック及び解像度を調整できます。
 - プロファイル: 接続されたカメラで使用可能なプロファイルを示している。(32 ページにプロファイルの詳細を参照してください)。
 - コーデック: 画像圧縮アルゴリズムの一種。
 - 解像度: ライブモニタリングの画像サイズ。
 - Fps: ライブモニタリング用のフレーム数。
 - Kbps: ライブモニタリングの画像データサイズ。
3. ‘編集 (Edit)’ボタンを押してプロファイルを編集します。
4. ‘OK (OK)’を押し、変更点を保存します。



隠しカメラ

ユーザーログインに対応したライブビュー上の隠しカメラです。

1. メニューを押し、‘デバイス (DEVICE) →カメラ範囲 (Camera page)’へ移動します。
2. ‘隠し’タブメニューへ移動します。
3. ‘から～まで (From~To)’欄のスケジュールを設定します。
4. 隠しモードを選択します。
 - 低モード: 表示はされませんが OSD (オンスクリーン表示) です。
 - 高モード: 何も表示がありません。
5. ‘OK (OK)’を押し、変更点を保存します。



備考: 録画データには影響しません。モニタリングのみに適用されます。

備考: 前の隠れチャンネルの設定がすでに接続しているスマートビューアには適用されません。

これは、新たに接続されているスマートビューアに適用されます。

プロフィール設定

ネットワークカメラには通常、単一または複数のプロフィールがあり、ユーザーはライブ、録画及びネットワーク転送のプロファイルといった詳細事項を選択できます。

システムにより、追加されたプロフィールが共有されます。ライブ、録画またはネットワークプロフィールをいったん編集すると、その他のプロフィールも更新されます。

- ライブプロフィール: ‘メニュー (Menu)→装置 (Device)→カメラ (Camera)→ライブプロフィール (Live profile)’
- 録画プロフィール: ‘メニュー (Menu)→録画 (Recording)→録画 (Recording)→録画プロフィール (Record profile)’
- ネットワークプロフィール: ‘メニュー (Menu)→ネットワーク (Network)→転送 (Transmission)→ネットワークプロフィール (Network profile)’

プロフィールの追加

1. ライブ、録画及びネットワークからプロフィールを 1 つ選択し、該当するメニューへ移動します。

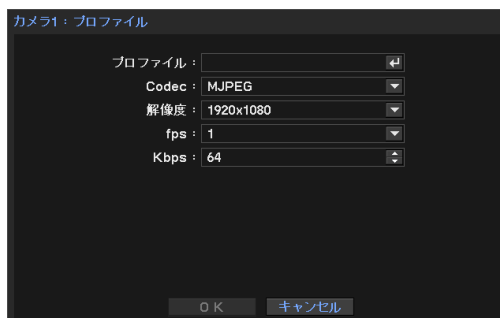


2. 右側の‘編集 (Edit)’ボタンを押すと、現在のプロフィールの詳細事項が表示されます。



3. 新規プロフィールを追加するには、下記の‘+ (+)’ボタンを押し、プロフィールの名前、コーデック、解像度、fps 及び Kbps の情報を設定します。

- 利用可能なプロフィールは、カメラによって異なる場合があります



4. ‘OK (OK)’を押し、変更点を保存します。

カメラの圧縮	記録の設定	発言
H.264	ビットレートは 4Mbps を超えると、フレームレートが 5frames 以上である必要があります。	720P 以上の解像度の場合、
MJPEG	2Mbps の以下	

プロファイル編集

- 1~2. 同じ「プロファイルを追加」など
3. あなたが選択したプロファイルに存在するプロファイルを押し「編集」ボタンを編集します。そして、選択プロファイルの名前、コーデック、解像度、FPS、Kbps の。
4. プレス「確認」ボタンを押して設定を保存

プロファイルを削除します

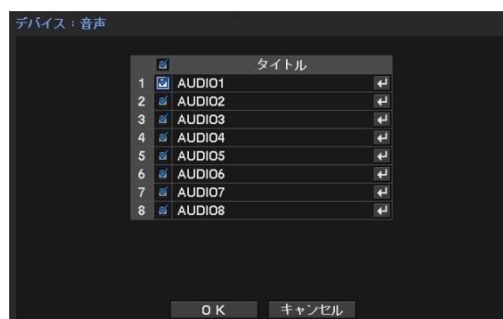
- 1~2. 同じ「プロファイルを追加」など
3. あなたは現在のプロファイル、選択されたプロファイルを押し「X」ボタンを削除する場合。
4. 削除チェックウィンドウを押して「はい」ボタンをクリックして設定を保存します。

オーディオ

オーディオ接続

NVR には、各チャンネルの音声録音されます。

1. メニューを押し、'デバイス (DEVICE) -> オーディオ (Audio)' へ移動します。
2. オーディオチャンネルを選択し、タイトルを任意の名前に変更します。
3. 'OK (OK)' を押し、変更点を保存します。



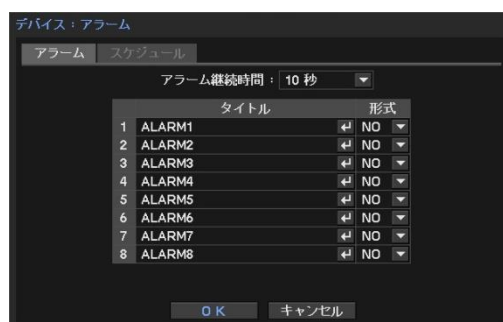
備考: オーディオ入力は、カメラが接続されている場合にのみ利用可能です。

アラーム

アラームのタイプ及びスケジュールを設定します。

アラームのタイプ及び時間を設定します。

1. メニューを押し、'デバイス (DEVICE) ->アラーム (Alarm)'のページへ移動します。
2. アラームの有効時間を設定します(5 秒~10 分)。
3. アラームチャンネルを選択し、タイトルを任意の名前に変更します。
4. アラームの選択タイプ
-NO: 通常入
-NC: 通常切
5. 'OK (OK)'を押し、変更点を保存します。



アラームスケジュールを設定する

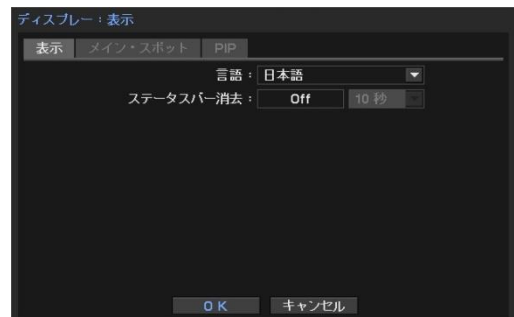
1. スケジュールタブへ移動します。
2. 日付と時刻を選択し、アラームを有効にします。
3. モードを選択します。(イベント、入、切)
4. アラーム出力番号及びブザーオプションを選択します。
5. 'OK (OK)'を押し、変更点を保存します。
* スケジュールが重複した場合、最新のスケジュールが優先されます。



ディスプレイ

モニターディスプレイ及びディスプレイの言語を選択する

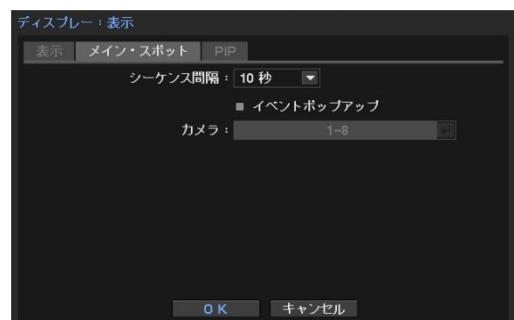
1. メニューを押し、ディスプレイのページへ移動します。
2. お使いの言語及びその他のディスプレイ用オプションを設定します。
3. ディスプレイの解像度を変更するには、'Resolution (解像度)'メニューを選択し、任意の解像度を選択します。
4. 'OK (OK)'を押し、変更点を保存します。



イベント別のチャンネルポップアップ

設定した時刻に、イベントと関連付けられたチャンネルを表示(ポップアップ)します。

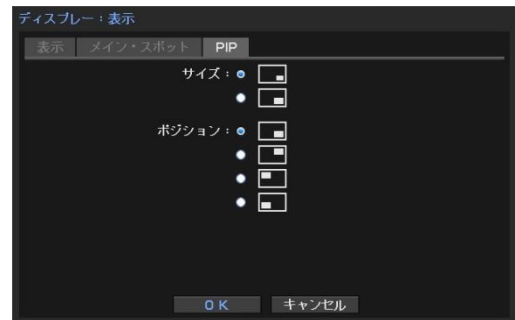
1. メニューを押し、'ディスプレイモニタリング'のページへ移動します。
2. 'シーケンス間隔'の時間を設定します。
3. 'イベントポップアップ'のオプションを確認します。
4. イベントが発生したときに表示されるカメラ番号を選択します。
5. 'OK (OK)'を押し、変更点を保存します。



PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー)の設定

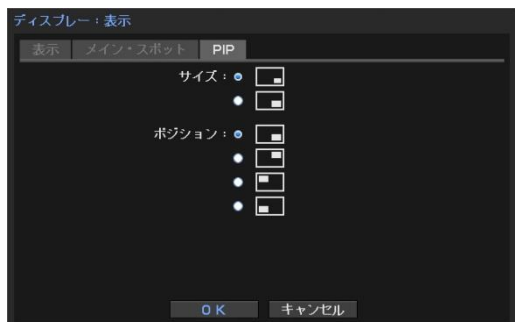
1. メニューを押し、'デバイス (DEVICE) -> PIP (PIP)'のページへ移動します。
2. 'サイズ (Size)'及び'位置 (Position)'を設定します。
3. 'OK (OK)'を押し、変更点を保存します。

備考: PIP が利用可能なのは、単一ライブディスプレイのみです。



解像度の設定

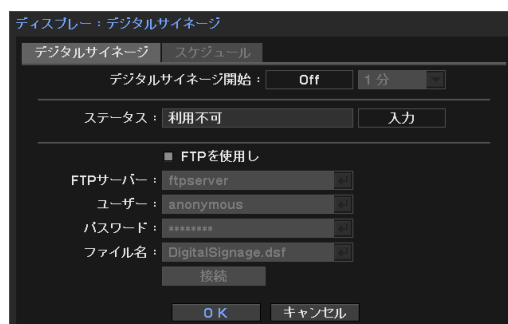
1. メニューを押し、'ディスプレイ (Display) - 解像度 (resolution)'のページへ移動します。
2. 解像度を設定する
3. 'OK (OK)'を押し、変更点を保存します。



デジタルサイネージ

デジタルサイネージの設定

1. 設定メニューでは、Display > Digital Signage のデジタルサイネージのページに移動。
2. デジタルサイネージ用のオートスタート時間を設定します。
3. を押して、[インポート]ボタンは、USB メモリを挿入した後、ファイルを選択し、[OK]をクリックします。
4. チェック FTP を有効にし、FTP サーバ/ユーザ/パスワード/ファイル名 (ディレクトリ)を入力し、[OK]をクリックします。
サーバー接続を確認して[接続]ボタンを押します。



- * デジタルサイネージファイルは DSmaker を使用して作成されます。
- * FTP を有効にする:これを設定すると、定期的に自動的に広告がファイルの最新バージョンをダウンロードしてFTP サーバーにアクセスします。
- * FTP サーバーはファイルサイズを確認するには、'SIZE'コマンドでサポートされる必要があります。

デジタルサイネージのスケジュール設定

1. 設定メニューでは、Display > Digital Signage.の[スケジュール]ページに移動します。
2. 日のオプションを選択します。
3. 開始/終了時刻を設定します。
4. モードを指定します。
5. 保存するには、[OK]をクリックします。

- * 録画スケジュールが互いに重複している場合は、最新の登録されたスケジュールが高い優先度を有するであろう。



録画設定

記憶装置及び録画オプションを設定します。

記憶装置を設定する

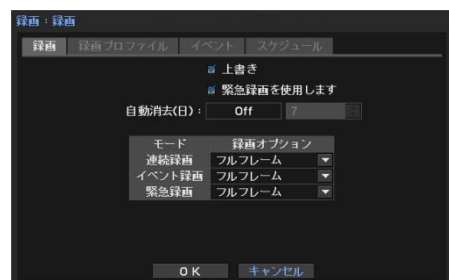
1. メニューを押し、システム (SYSTEM) → 記憶装置 (Storage)へ移動します。
2. システムに、設置された HDD が表示されます。
3. HDD を使用するために、HDD を選択し、下部の'フォーマット (Format)'ボタンを押します。
4. フォーマットの工程が完了してから'閉じる (close)'を押します。

備考: '録画 (Record)' には、データ保存期間及び HDD の使用について表示されます。



録画設定

1. メニューを押し、'録画 (Record) → 録画 (Record)' へ移動します。
2. 「上書き」オプションをチェックします。
*選択されていない場合、システムは現在の HDD はフルレコードのみのデータであるだろうまで。
 - 時間録画は連続した録画です。
 - イベント録画はイベントが発動したときのみの録画です。
 - 緊急録画: 外部からの緊急録画信号により有効となります。
3. 'オート Delection' オプションを選択します。
* セットアップの日付が渡されたときに、古いデータが自動的に削除されます。
4. 'OK (OK)' を押し、変更点を保存します

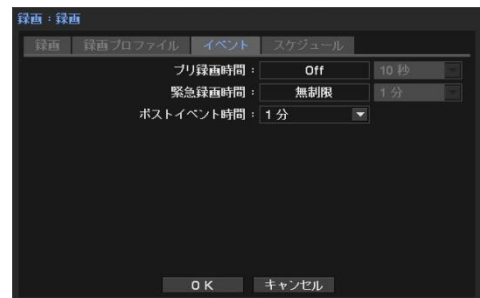


録画プロフィール

録音のプロフィールを選択します。詳細については、32 ページを参照してください。

イベント録画設定

1. イベントのページへ移動します。
2. 'プレイイベント'の持続時間を'ON (ON)'にし、時刻を設定します。
システムは発生したイベントから過去のデータを録画します。
3. 緊急録画用の時刻を設定します。'制限なし (No Limit)'の設定録画は緊急録画が停止するまで続きます。
4. イベント録画持続時間は通常イベントの録画持続時間用です。
5. 'OK (OK)'を押し、変更点を保存します。



録画スケジュールを設定する

1. メニューを押し、'録画 (Record) -> 録画スケジュール (Record Schedule)'タブへ移動します。
2. 日付欄上の日付オプションを設定します。
*行ごとに選択する日付オプションです。
3. 'から～まで (From~To)'欄の録画時刻を設定します。
4. 録画モードを選択します。
5. 適用するカメラを選択します。
 - スケジュールを削除するには、右側の[X]ボタンを押します。

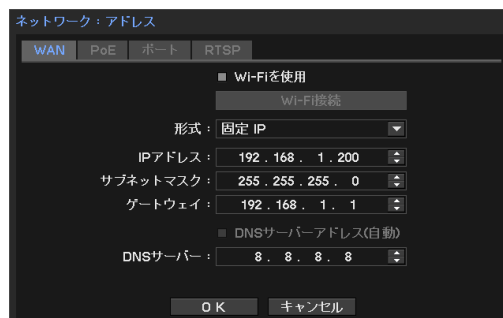


ネットワーク

IP アドレスを設定する

1. メニューを押し、'ネットワーク (Network) -> アドレス (Address) -> WAN (WAN)' ページへ進みます。
2. IP アドレスのタブを 1 つ設定します。
*DHCP (DHCP) オプションの場合、必要な IP アドレス設定はありません。
3. '静的 IP' オプションの場合、'IP アドレス (IP address、サブネットマスク (Subnet mask)、ゲートウェイ (Gateway)' を入力する必要があります。
4. 'OK (OK)' を押し、変更点を保存します。

* 通信ポートを変更するには、本メニューの 'ポート (Port)' ページへ移動してください。



WiFi 接続

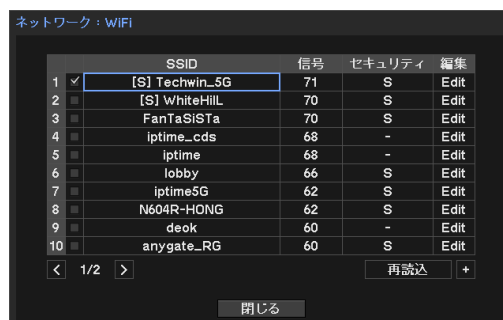
1. NVR 本体に無線 LAN ドングルを接続します。
2. 設定メニューでは、Network > Address.の WAN 側のページに移動します。
3. チェック WiFi を有効にし、WiFi 接続ボタンを押します。
4. アクセスポイントリストが検索では AP は、接続するために、SSID をクリックします。
5. 認証が必要な場合は、ウィンドウにパスワードを入力します。

*現在接続されている AP が V でマークされている

*AP の接続が失われた場合*は、自動的に以前に接続 AP に接続しようとします。

* AP が以前に接続されていた場合、それはその SSID の前に[S]を持ちます。

*互換性の WiFi ドングル: SEA-W01AC (サムスン)。



PoE の設定 (パワー・オーバー・イーサネット)

1. メニューを押し、'ネットワーク (Network) -> アドレス (Address) -> PoE (PoE)' ページへ移動します。
2. IP アドレス及びサブネットマスクを設定します。
3. このシステムを DHCP サーバーとして使用するとき、接続した IP カメラに割り当てられる IP 範囲を設定する必要があります。

* 接続したカメラは DHCP オプションで設定する必要があります。

4. 'OK (OK)' を押し、変更点を保存します。

ネットワーク: アドレス

WAN PoE ポート RTSP

IPアドレス: 10.0.0.1

サブネットマスク: 255.255.255.0

☒ DHCPサーバーを使用する

IP範囲: 10.0.0.2 ~ 10.0.0.254

IPリソース一覧

OK キャンセル

ポートを設定する

1. メニューを押し、'ネットワーク (Network) -> アドレス (Address) -> ポート (Port)' ページへ移動します。
2. 'リモートモニタリング (Remote monitoring)'、再生及び設定用のポートを設定します。初期設定は '10101' です。
* ライブポートを設定すると、その他のポートは自動的に設定されます。
3. Web ビューアー用のポートを設定します。初期設定は '80' です。
4. UPnP を使用する: この機能により、ルーター上の自動ポート転送が可能です。

ネットワーク: アドレス

WAN PoE ポート RTSP

ネットワークポート: 10101

Webviewerポート: 80

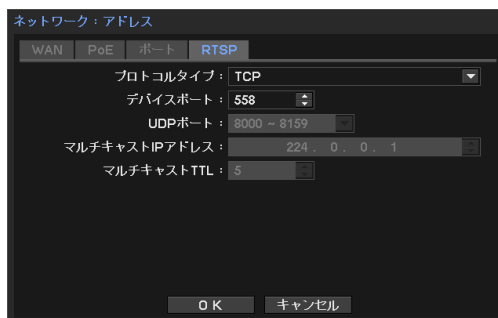
☒ UPnPを使用する

	ポート
ライブ	10101
再生	10102
設定	10103
SUNAPIサーバ	12000
RTSPサーバ	12001

OK キャンセル

RTSP ポート

1. を押しメニューと「ネットワーク ->アドレス -> RTSP」ページに移動する。
2. プロトコルタイプ: TCP、UDP の間でプロトコルタイプを選択 - ユニキャストおよび UDP - マルチキャストを。
3. デバイスポート: 接続可能なポート番号を入力します。デフォルトは '558' です。
* TCP: これは、良好な安定性と UDP と比較し、そしてインターネット環境に推奨されるより低い速度を有しています。
4. UDP ポート: 最初は、「8000~8159」が設定されている。これは、/増加 160 によって減少
* UDP: これは、以下の安定性および TCP と比較して、ローカルエリアネットワーク(LAN)環境のために推奨されるより速い速度を有しています。
5. マルチキャスト IP アドレス: ユーザが直接入力する
6. マルチキャスト TTL: 0~255 のデフォルトの中から選択すると、「5」である。



DDNS 設定

リモートアクセスの際は、DDNS サーバー設定のある DDNS サーバーを使用します。

1. メニューを押し、'ネットワーク (Network) -DDNS (DDNS)'へ移動します。
2. 'DDNS を使用 (Use DDNS)'オプションを確認します。
3. DDNS server normally.'製品 ID (Product ID)'を入力し、'更新(Update)'を押して DDNS
4. サーバーに正常にアクセスしていることを確認します。
5. 'OK (OK)'を押し、変更点を保存します。
* DDNS を使用するには、システムがインターネットに接続されている必要があります。
* '製品 ID (Product ID)'を入力し、'更新 (Update)'を押して DDNS サーバーに正常にアクセスしていることを確認します。

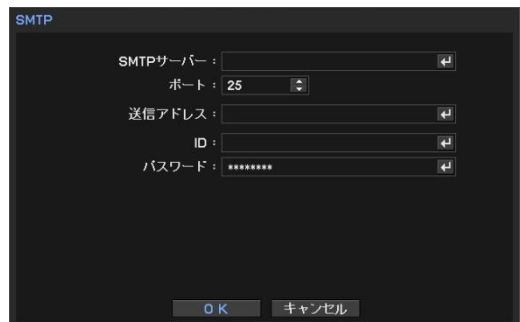
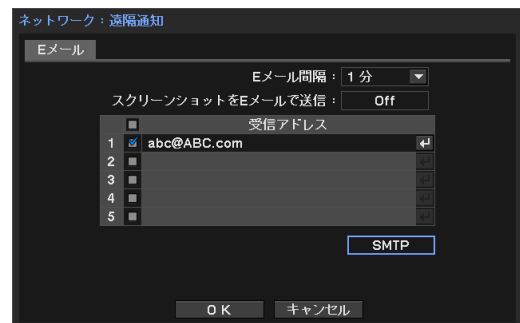


ネットワーク経由でイベントを通知する

メールにメッセージを送信するために提供機能を使用します。

E メール設定

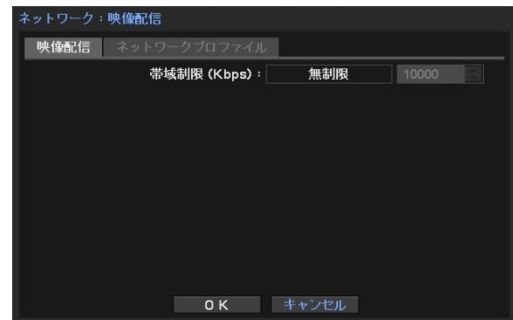
1. メニューを押し、'ネットワーク (Network) ->通知 (Notification)->E メール (Email)'ページへ移動します。
2. Eメールのインターバルを設定します。
*インターバルの間のイベントには送信しません。
3. 画像オプションを確認してEメールに添付します。
4. 受信側のEメールアドレスを入力します。
5. SMTP ボタンを押し、情報を入力します。
6. 'OK (OK)'を押し、変更点を保存します。



ネットワーク送信

ネットワークデータストリーミングオプションを調整し、最適化します。

1. メニューを押し、'ネットワーク (Network) ->送信 (Transmission)->送信 (Transmission)'ページへ移動します。
2. お使いのネットワーク速度に従い、ネットワーク帯域幅を設定します。
3. 'OK (OK)'を押し、変更点を保存します。



ネットワークプロファイル

ライブ監視用のプロファイルを選択します。32 ページで、プロファイルの詳細を参照してください。

イベント

センサー、モーション、ビデオロス、システム、G センサー及び IP カメラ等のイベント関係オプションを設定します。

録画、アラーム及び通知を有効にするためのイベント有効化

各トリガーイベントは下記の行動により有効化されます。

1. 録画: 選択した複数のチャンネル上で録画を開始します。
2. アラーム: 選択した複数のチャンネル上でアラームを開始し、ブザーを有効にします。
3. 通知: メッセージを'コールバック (Callback)'または'E メール (E-mail)'でリモート PC へ送信します。

例 1) センサー設定

センサー1 が実行されると、チャンネル 1 及び 2、アラーム 1、2、4 が録画され、通知が送られます。

1. メニューを押し、'イベント (Event) -> センサー (Sensor)' ページへ移動します。

2. センサー1 (Sensor1) をチェックし、タイプを設定します (NC または NC)。



3. '録画 (Record)' タブをクリックし、センサー1 の '録画 (Record)' 欄をクリックし、チャンネル 1 及び 2 を選択します。



4. アラーム (Alarm) タブをクリックし、センサー1 の 'アラーム (Alarm)' 欄をクリックし、チャンネル 1、2 及び 4 を選択します。



* あなたの電子メールアドレスを登録するには - 「ネットワーク>通知」ページに移動するように設定。

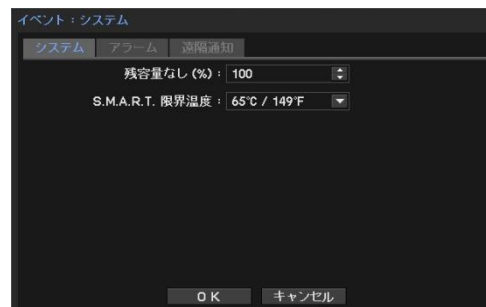
* モーション検出、ビデオロスおよび IP カメライベントのセットアップはセンサーイベントの設定と同じです。

* センサー名がリストにセンサー名を選択することによって変更することができる。

システム通知

システムの状態をアラーム及びコールバックで通知します。

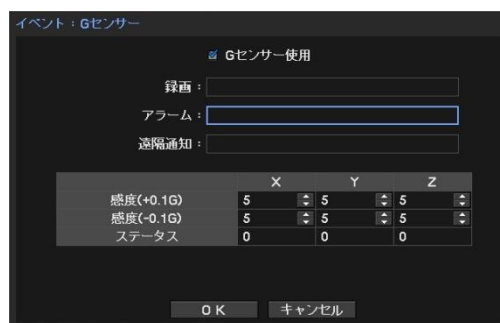
1. ストレージに完全な%を設定します。ストレージがこのレベルに達したときに、システム通知が発生します。
2. 通知を受信する温度 SMART しきい値レベルを設定します。。
3. アラーム及び通知を設定します。(上記例参照)。



G センサー通知

このような急発進、停止、疑われる事故などの動きを検出します。

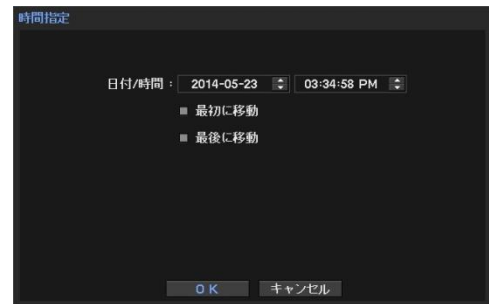
1. メニューを押し、'イベント (Event) -> G センサー (G-Sensor)' ページへ移動します。
2. 'G センサーを使用' をチェックします。
3. '録画' 欄を押し、イベントが発生したときに録画するチャンネルを選択します。
4. 'アラーム (Alarm)' 欄を押し、アラーム有効化用のチャンネルを選択します。
5. あなたは「通知」欄からのイベントを発表したい場合に、電子メールアドレスを選択します。
6. x、y 及び z 軸それぞれの感度を設定します。
* 付属 G センサ IO ボックスのディップスイッチの設定が間違っている場合、それは不必要な警報を生成します。ときにインストールディップスイッチの設定を確認してください。



再生（検索）

時刻検索（時刻へ移動）

1. ライブモードではマウスを右クリックし、'再生（Playback）'を選択します。
2. 録画したデータを保管する記憶装置を選択します。
3. システムが'再生（検索）'モードに入ります。
4. マウスをもう一度右クリックし、'移動（Go to）'を選択します。
5. オプションの'時刻へ移動（Go to time）'を選択します。
6. データと時刻を設定し、'OK（OK）'を押して再生します。



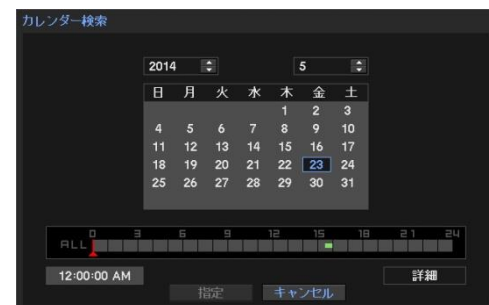
検索オプションについて

- 時刻へ移動: 時刻を設定し、その特定の時刻へ移動します。
 - 最初へ移動: 最初に録画したデータへ移動します。
 - 最後へ移動: データの最後へ移動します。
 - **分へ移動: 以前に録画したデータへ移動します。(** データ前)
- * 条件を検索し、再生データに近い単一チャンネルの画像を表示する場合に表示されます。

カレンダー検索

1～3.'時刻検索'と同じです。

4. マウスをもう一度右クリックし、'カレンダー（Calendar）'を選択します。
5. データと時刻を選択し、'移動（Go To）'を押します。
6. 画面上に選択したデータが表示されます。下記の再生コントロールボタンを使用します。
7. 再生モードを終了するには、マウスを右クリックして'再生を終了'を選択します。



イベント検索

推奨イベント一覧から簡単に検索できます。

1～3. '時刻検索'と同じ手順です。

4. マウスをもう一度右クリックし、'イベント検索 (Event Search)'を選択します。
5. 特定のデータを見付けるためにイベントのデータ及びタイプを選択します。



*各イベント一覧には、1,000 のイベントが表示されます。次の 1,000 件を表示するには、>>ボタンを押します。

*'ログ (Log)'メニューイベントのページのイベントで検索できます。

*あなたが SmartViewer で検索すると、イベント録画範囲の確認のために、あなたは「すべて」の「高度な検索」メニューを選択する必要があります。

バックアップデータ再生

1. ライブモードでマウスを右クリックします。
2. 'データのバックアップ (Backup data)'を選択します。
3. 装置及びファイルを選択します。
4. システムに再生画面が表示されます。下記の再生コントロールボタンを使用します。

*バックアップ再生が利用可能なのは、バックアップファイルがある場合のみです。



再生の操作

逆再生: 逆方向再生 (1x→2x→..64x → 1x)

後ろへ: 前の画像へ移動する

停止: 現在の画像を停止する

前へ: 次の画像へ移動する

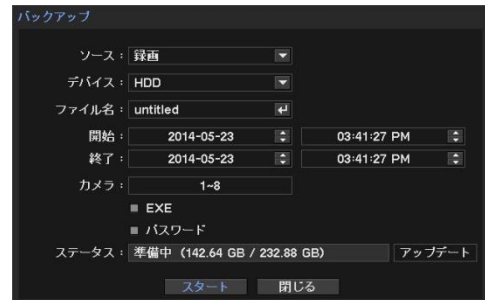
再生: データを通常速度で再生する (1x→2x→..64x → 1x)



バックアップ

録画したデータをバックアップする

1. ライブモードでマウスを右クリックします。
2. バックアップを選択し、タイプを選択します。(バックアップまたは AVI メーカーまたは SEC)
3. USB メモリをシステムの USB スロットに挿入します。
4. バックアップ用の装置を選択します(通常は USB メモリを使用します)。
5. バックアップデータの期間及びカメラを設定します。
6. 「EXE」オプションと[パスワード]オプションを選択します。
7. '開始 (Start)'ボタンを押します。



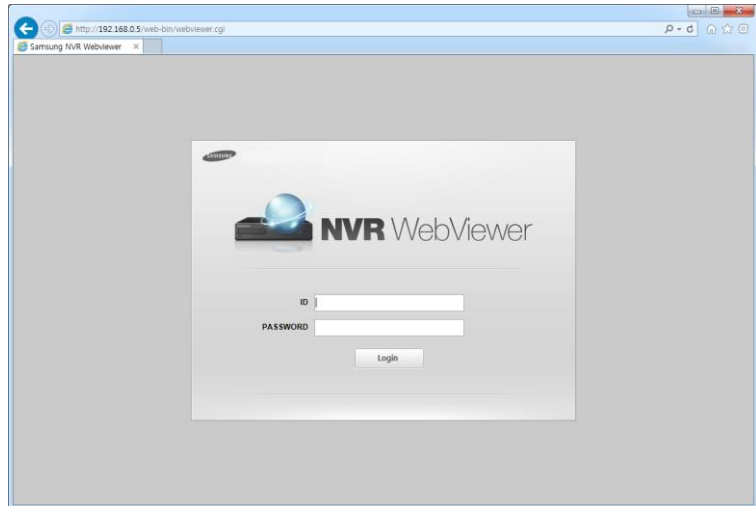
- *「strg」は再生データアップ 機能を使用して、マルチチャンネルのビデオを再生することができます。
- 「exe」は、PC での排他的なメディアプレーヤーを使用してマルチチャンネルのビデオを再生することができます。
- * 「SEC」は排他的な形式(秒)として保存され、それは内蔵のメディアプレーヤバックアップ時に使用して、マルチチャンネル再生を再生することができます。
- * 'AVI'は、1 チャンネルのバックアップ視聴者や一般のメディアプレーヤーでサポートされています。
- * チャンネル情報(カメラ名、時刻)は「AVI」バックアップ中に字幕ファイル(SMI)で保存されます。
- * データのバックアップが処理されている間*ストレージデバイスを削除しないでください。

ウェブクライアントアクセス

ウェブブラウザを使用してシステムにアクセスします。

Web ビューアは、(Java があなたの PC にインストールする必要があります)を起動します

1. Web ブラウザを実行し、NVR または DDNS アドレスの IP アドレスを入力してください。
2. ログインページで ID とパスワードを入力してください。



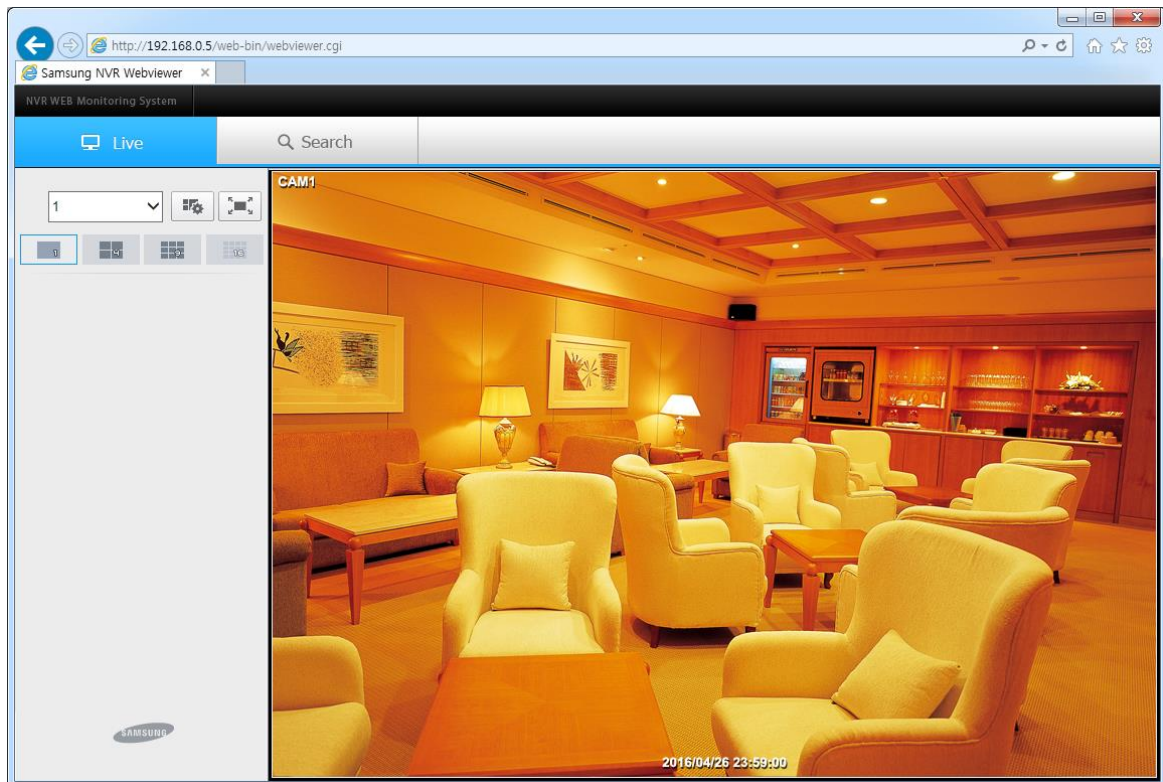
* Windows の推奨要件: Windows 7 (32bit)

Mac OS の推奨: OS X Yosemite (10.10.5)

* 安全でないモード動作が Safari で実行することができます (推奨: Safari 8.0.8 10600.8.9)

ライブビュー

1. あなたがログオンに成功した場合は、以下のようなライブビューを見ることができます。



2. ライブビデオを制御するには、次のボタンを使用して。

ボタン	説明	ボタン	説明
<input type="text" value="1"/>	カメラを選択する		リモート設定
	全画面	<input type="text" value="Search"/>	検索へ移動
	レイアウトを変更する（あなたはそれを大画面を表示する場合は、特定のビデオをダブルクリックする）		

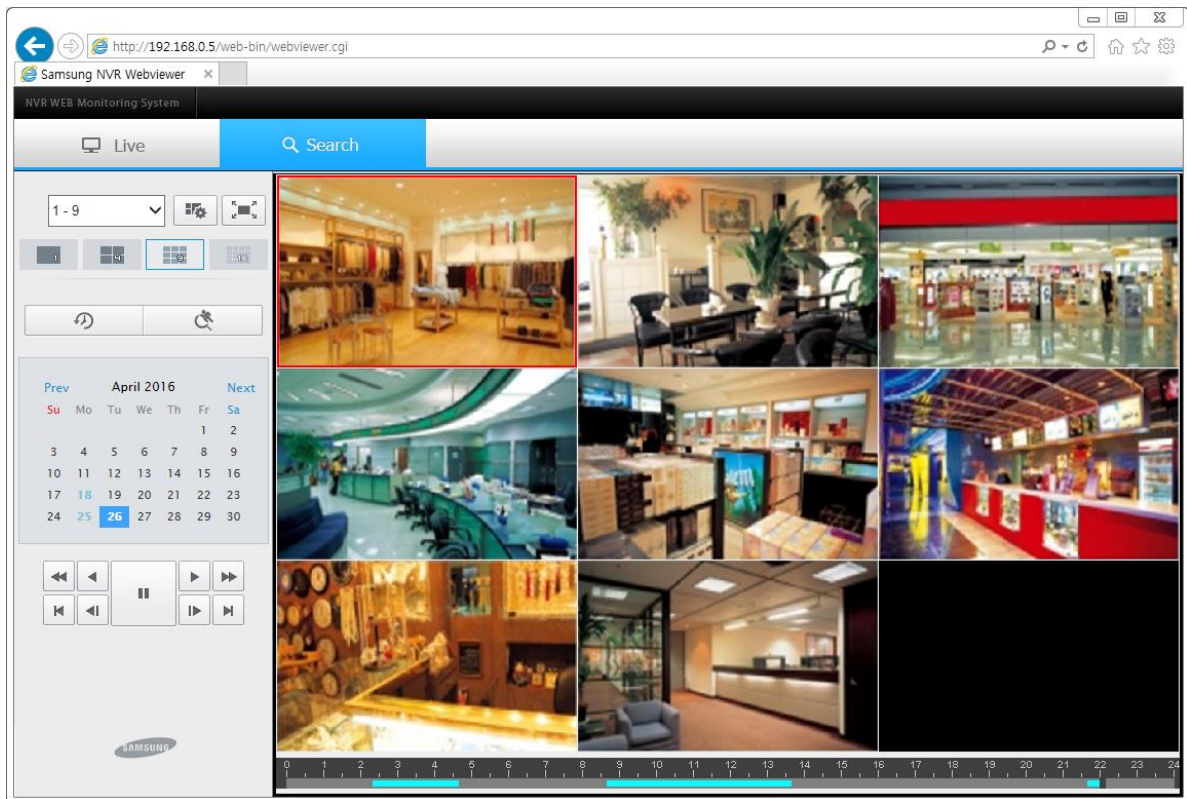
* 1 チャンネルレイアウト中に音声機能を有効にします。

検索ビュー

1. プレス[検索]タブのアイコン

Q Search

はビューの検索に移動します




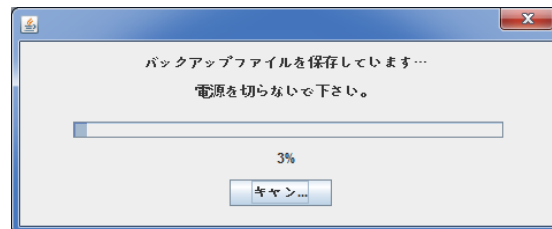
2. ライブビデオを制御するには、次のボタンを使用して。

ボタン	説明	ボタン	説明
	カメラを選択する		リモートバックアップ
	イベント検索		リモート設定
	早送り/巻き戻し再生		全画面
	2～64 倍速再生		レイアウトを変更する
	1 フレーム移動する		最初/最後へ移動する
	停止する		

* 1 チャンネルレイアウト中に音声機能を有効にします。

リモートバックアップ

1. 索ビューでは、プレスリモートバックアップアイコン  はリモートバックアップダイアログを表示します。
2. を押し、[スタート]ボタン保存場所、日時、カメラ番号、パスワードを入力した後、



3. 完成バックアップ、バックアップデータファイル、バックアップビューアファイルとライブラリファイルの後に保存されます。

* Web ビューアは、「秒」のバックアップをサポートしています。

イベント探索

1. 日付、イベントタイプ、カメラ番号を選択し、ボタンを押してください検索。
2. 各イベントリストには、[次へ]ボタンを次の 15 のイベントを見るために、15 イベントが表示されます。
3. 検索ビュー上のビデオフレームを表示するにはイベントのいずれかを選択します。

イベント探索

日付
2015-03-27 ▼

イベントタイプ
☒ モーション ☒ センサー ☒ ビデオロス
☒ 緊急 ☒ G-センサー ☒ IPカメラ

カメラ
☒ 全部 ☒ 1 ☒ 2 ☒ 3 ☒ 4
☒ 5 ☒ 6 ☒ 7 ☒ 8
☐ 9 ☐ 10 ☐ 11 ☐ 12
☐ 13 ☐ 14 ☐ 15 ☐ 16

検索 前 次

イベント
[M] 6 2015-03-27 18:26:40
[M] 6 2015-03-27 18:25:13
[M] 6 2015-03-27 18:18:59
[M] 6 2015-03-27 18:17:37
[M] 6 2015-03-27 18:04:01
[M] 6 2015-03-27 17:59:21
[M] 6 2015-03-27 17:54:39
[M] 6 2015-03-27 17:53:33
[M] 6 2015-03-27 17:52:27
[M] 6 2015-03-27 17:50:25
[M] 6 2015-03-27 17:48:15
[M] 6 2015-03-27 17:47:15
[M] 6 2015-03-27 17:45:54
[M] 6 2015-03-27 17:42:02
[M] 6 2015-03-27 17:38:38

- 情報は「イベントタイプ」「カメラ番号」「日付」「時刻」の順に表示され、彼らはスペースを残すことによって分割されている....
- イベントのタイプは、運動(M)、センサ(S)、ビデオロス(V)、緊急(E)、G センサ(G)、IP カメラ(I)を有する。

デジタルサイネージメーカー

あなたは、デジタルサイネージに使用した広告ファイルを作成することができます。

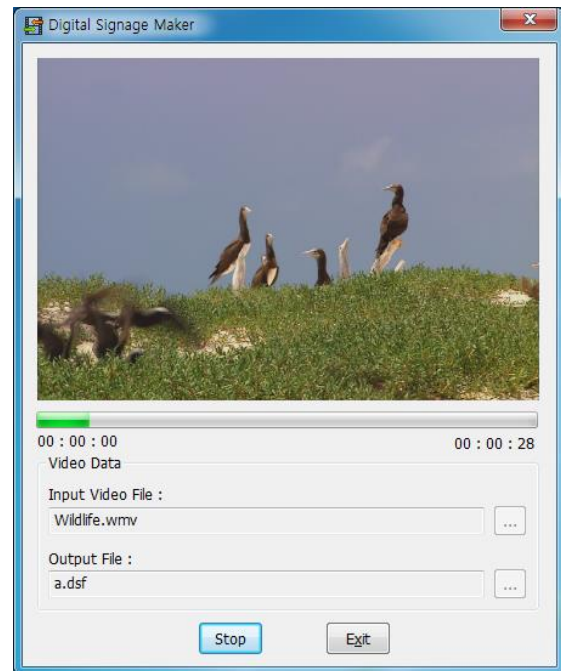
動画広告の作成

1. 変換する動画ファイルを選択します。
2. 変換された広告のファイルを保存し、ファイル名を入力するためのドライバ/フォルダを選択します。
3. 変換を開始するためのスタートボタンを押します。
プログレスバーの下には、開始/終了時間は進行状況を示すために表示されます。
4. 現在の進行状況にまで変換するために、[停止]ボタンを押します。
5. USB メモリの最上位フォルダに変換されたファイルをコピーし、デジタルサイネージメニューの NVR を押しインポートに挿入します。

* AVI ファイル、の MP4、の MOV、および WMV ファイルは、広告ファイルに変換することができる。

* 広告のファイルサイズは最大 1GB がある。

* ファイルは、USB のトップフォルダに保存されていない場合。NVR はそれを検出しません。



付属資料

システム仕様

ビデオ		SRM-872
ネットワークカメラ	入力	最大 8 チャンネル
	解像度	CIF、VGA、4CIF、1.3M、2M、3M、5M
	プロトコル	ONVIF、SUNAPI
設置	カメラ設定	解像度、フレーム率、ビットレート設定
	ビューアー	埋め込み型 Web ビューアー
	マルチ画面モニター表示	1/4/9
性能		
OS		組み込み Linux
録画	圧縮	H.264、MJPEG
	録画ビットレート	64Mbps
	録画レート	最大 240fps @1280 x 720 (1.3M)
	録画モード	緊急、スケジュール(時刻/イベント)
	上書きモード	連続、保持時間有りの自動削除
	プレアラーム	最大 30 秒
	ポストアラーム	最大 6 時間
イベント	ソース	センサー、MD、V-Loss、G-Sensor、IP カメライベント
ネットワーク	イーサネット	ギガビット・イーサネット x 1, FE x8 w/PSE
	通信速度	最大 1Gbps
	最大リモートユーザー数	ライブ(10)/検索(3)/設定(1)
	プロトコル対応	TCP/IP、DHCP、SMTP、NTP、HTTP、DDNS、RTP、RTSP、UDP
	モニタリング	CMS、Web ビューアー、スマートフォンビューアー
	接続モード	静的/DHCP
記憶装置	内部 HDD	1 HDD (2.5") または 1 SSD
	取り外し可能	Micro SD - Max 32GB - Class 6 Over (Write 10MB/s Over)
バックアップ	USB	2 USB ポート(下記の 2 ポートを使用)
	ファイルフォーマット	STRG(NVR プレーヤー)、EXE(インクルードプレーヤー)、AVI、SEC
検索	機能	8ch 検索/再生、GPS 情報、G センサー
インターフェース		
ビデオ	入力	8 RJ-45(PoE サポート)
	出力	1 HDMI、1 VGA、最大 1080p
オーディオ	入力	ネットワークカメラオーディオ出力、最大 8CH
	圧縮	G.711、G.726
	外部オーディオ出力	1 フォンジャック(本体)、1 RCA コネクタ(コントロールボックス)
アラーム	入力	ターミナル 8 入力、NO/NC
	出力	ターミナル 8 出力、NO/NC
その他	イーサネット	RJ45(10/100/1000 Base-T イーサネット)
	USB	3 USB(2.0 高速)

	GPS	1 SMA
機能		
電力管理	シャットダウン遅延	1 分～30 分(ユーザー選択可能)
一般		
電気	入力電圧	12V～24V DC
	電力消費	最大 30W
	カメラ電力出力	チャンネルごとに最大 8W、合計 64W(PoE、IEEE802 3af)
環境	動作温度/湿度	-25℃～+50℃(-13℉～+122℉)/20%～85% RH
機械	寸法 (幅×高さ×奥行き)	・ システム: 225.5(幅)× 59(高さ)× 312.2(奥行き) mm ・ I/O ボックス: 155(幅)× 44(高さ) × 70(奥行き) mm ・ コントロールボックス: 121(幅)× 32(高さ) × 75(奥行き)
	重量 (HDD なしの場合)	・ システム: 2.17 kg ・ I/O ボックス: 0.35kg ・ コントロールボックス: 0.18kg
承認	EMC/安全性	CE、FCC、cUL、e-Mark、KC、EN50155
	衝撃、振動	MIL STD-810F メソッド 514.5、EN61373

初期設定

分類	詳細事項			値
システム	情報	システム	NVR 名	なし
			リモートコントローラー ID	0
		車両	会社名	なし
			製造	なし
			モデル	なし
			登録 No.	なし
			ライセンス No.	なし
			ドライバー	なし
			システムが遅延をシャットダウン	5
	日付と時刻	日付と時刻	時間帯	GMT
			サマータイム	OFF
			日付表示	YY-MM-DD
			時間表示	12 時間
		NTP	NTP 使用	切
			NTP サーバー	なし
			(NTP) インターバル	1 日
		休日		なし
	ユーザー	ユーザー	自動ログイン	切
			自動ログアウト	切
		グループ	ユーザー	管理者、ゲスト
			グループ	管理者、ゲスト
装置	カメラ	カメラ	タイトル	CAM1～CAM8
			プロトコル	ONVIF
			ID	管理者
			パスワード	4321
		隠し	日	すべて
			開始～終了	00:00～24:00
			モード	切
			カメラ	1～8
	オーディオ		オーディオ選択	なし
			名称	AUDIO1～AUDIO8
	アラーム	アラーム	アラーム持続時間	10 秒
			タイトル	ALARM1～ALARM8
			タイプ	NO
			日	All
		スケジュール	開始～終了	00:00～24:00
			モード	イベント
			アラーム	1～8、ブザー
ディスプレイ	ディスプレイ	ディスプレイ	言語	英語
			ステータスバー非表示	切
		モニタリング	シーケンスインターバル	10 秒
			イベントポップアップ	切
			サイズ	小
		PIP	位置	右下
			解像度	1280x720
	解像度		解像度	1280x720

	電子看板	デジタルサイネージ	自動起動するデジタルサイネージ	オフ
		スケジュール	FTP の利用	オフ
			日	全て
			開始および終了	00:00~24:00
			モード	オン
録画	録画	録画	上書き	入
			ユーザー緊急録画	入
			自動削除	切
			時刻録画	全フレーム
			イベント録画	全フレーム
			緊急録画	全フレーム
		イベント	プレイイベント持続時間	切
			緊急録画持続時間	制限なし
			ポストイベント持続時間	1 分
		スケジュール	日	すべて
			開始～終了	00:00~24:00
			モード	時刻とイベント
			カメラ	1~8
			設定	全フレーム
ネットワーク	青dレス	WAN	タイプ	静的 IP
			IP アドレス	192.168.1.200
			サブネットマスク	255.255.255.0
			ゲートウェイ	192.168.1.1
			DDNS サーバーアドレス自動	切
			DNS サーバー	8.8.8.8
		PoE	IP アドレス	10.0.0.1
			サブネットマスク	255.255.255.0
			DHCP サーバーの使用	入
			IP 範囲開始	10.0.0.2
			IP 範囲終了	10.0.0.254
		ポート	ネットワークポート	10101
			Web ポート	80
			RTSP ポート	554
			UPnP の使用	切
	DDNS		DDNS の使用	切
			DDNS サーバー	smsungipolis.com
			製品 ID	なし
	通知	E メール	Eメールの間隔	1 分
			キャプチャー画像を Eメールに追加	切
	通信	通信	帯域幅制限 (Kbps)	切
イベント	センサー	センサー	センサーの選択	なし
	モーション	モーション	カメラの選択	なし
	ビデオロス	録画	選択録画	なし
	システム	システム	記憶装置フル	100 %
			S.M.A.R.T.しきい値	65°C / 149°F

		アラーム	記憶装置 bad	ブザー、アラーム
			記憶装置フル	ブザー、アラーム
			S.M.A.R.T.	ブザー、アラーム
			録画用の記憶装置なし	ブザー、アラーム
			緊急録画	なし
	G センサー		G センサーの使用	なし
	IP カメラ		IP カメラの選択	なし

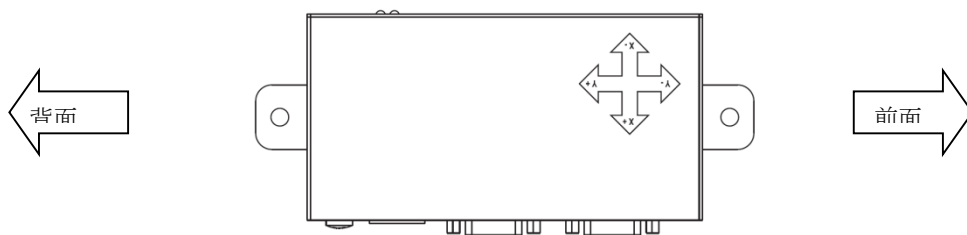
I/O ボックスの設置

1. 設置時の注意事項

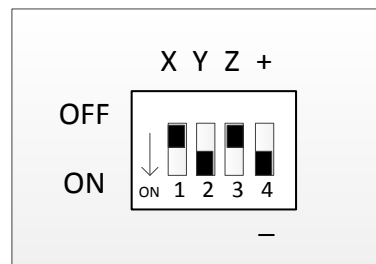
I/O ボックス内部には G センサーが含まれています。設置時には、下記の設置ガイドにご注意ください。

- 設置する場所に関係なく、お使いの車両に基準を合わせるようにしてください。
- 車両の方向と平行にし、X、Y、Z軸が製品のケースに向き合うように設置してください。
- 移動方向と軸を確認し、前面のDIPスイッチを正しく設定してください。

例) 下記の写真のように設置した場合



下記の写真にある通り、DIP スイッチを'Y-'に設定します。



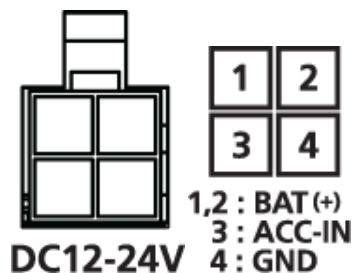
2. 注意事項。

レベルを維持し、システム初期化時に I/O ボックスは G センサーを校正するので、電源入力デバイスに追加される前に、ディップスイッチの設定を行ってください。レベルがレベルまたは間違ったディップスイッチの設定を維持されていない場合、システムは G センサーのキャリブレーションに失敗することがあります。ユニットは、キャリブレーションに失敗した場合、G センサーの出力値が再び調整されません、それは本体に I/O ボックスからセンサの出力データを送信します。

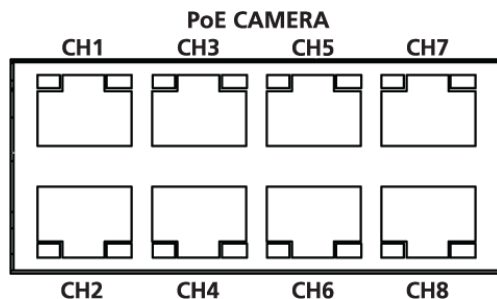
接続ピンマップ

1. 電源コネクタ

- VCC/ACCの入力範囲は12Vdc～24Vdcです。
- VCC電源端子は車両のバッテリーに接続する必要があります。ACC電源端子は車両の付属電源に接続します。
- ACC 電源端子は'ACC (ACC)'モードのときにONになる電源です。



2. IPカメラ入力接続ピンマップ



No.	PoE 電源出力 / データイン
1	TX+, DC+
2	TX-, DC+
3	RX+, DC-
4	使用なし
5	使用なし
6	RX- DC-
7	使用なし
8	使用なし

- IP カメラに接続すると、それは「FTP」を使用することが推奨されるか、ケーブルのより高いレベルは、任意の外部ノイズを最小限に抑えるため。

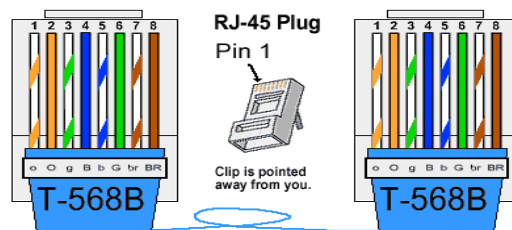
3. UTPケーブルピンマップ (I/Oボックス1/2、コントロールボックス)

- RJ-45コネクタピンマップ

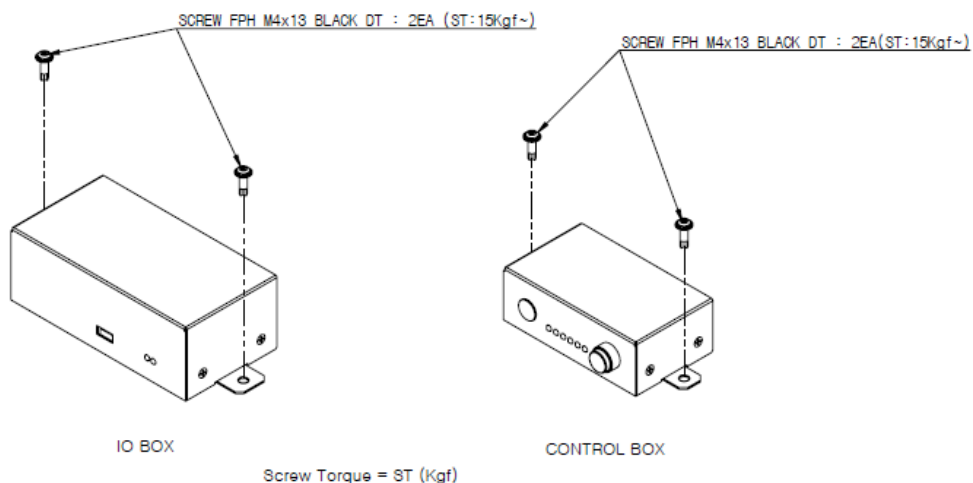
No.	I/O ボックス 1	I/O ボックス 2	コントロールボックス
1	使用なし	使用なし	使用なし
2	使用なし	使用なし	GND
3	I/O ボックス TXD	使用なし	アナログオーディオ
4	VCC 12V	使用なし	VCC 12V
5	VCC 12V	使用なし	コントロールボックス TXD
6	I/O ボックス RXD	使用なし	アース接続
7	アース接続	使用なし	コントロールボックス RXD
8	検出端子	使用なし	検出端子

- UTPケーブル

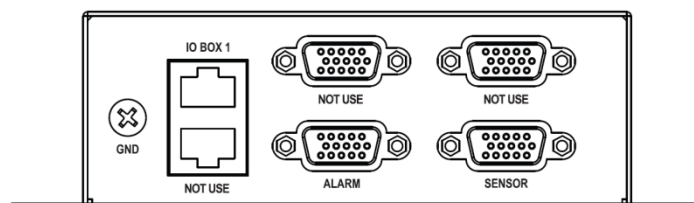
ストレートタイプの UTP ケーブルを使用します。



4. 設置 (I/O ボックス、コントロールボックス)



5. I/Oボックス D-SUB15ピンマップ



No.	アラーム/センサー	No	アラーム/センサー
1	信号 1	9	信号 5
2	アース接続	10	GND
3	信号 2	11	信号 6
4	アース接続	12	GND
5	信号 3	13	信号 7
6	アース接続	14	GND
7	信号 4	15	信号 8
8	アース接続		

- センサー入力接続**
 センサー信号ラインの 1 つを'信号 (Signal)'ポートに接続し、もう 1 つを'接地 (GND)'ポートに接続します。
- アラーム出力接続**
 「オープンコレクタ」タイプと、過剰な電圧や電流で警報装置が使用されているとき、それは可能性のあるシステムの誤動作の原因となります。使用前に連絡インストーラこのタイプ。

よくあるご質問

質問	対処法
システムがオンにならず、前面のLEDインジケータがまったく機能しません。	<ul style="list-style-type: none"> 電源供給システムが正しく接続されているかをご確認ください。 電源からの入力電圧用のシステムをご確認ください。
ビデオ入力を接続しているのに、該当するビデオ映像が表示されないチャンネルがあります。	<ul style="list-style-type: none"> カメラのWebビューアーを接続しているビデオ出力をご確認ください。 ネットワークポートが正しく接続されており、ネットワーク設定が正しく設定されているかをご確認ください。 'メニュー (Menu)>装置 (Device)>カメラ (Camera)>設定 (Setup)' へ移動し、カメラ用のID/パスワードをもう一度ご入力ください。
ロゴが継続して表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> メインボードまたはソフトウェアに欠陥がある可能性があります。サービス提供業者にお問い合わせください。
接続されているのに、画面がモニターに表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> リモートコントローラーの'ズーム (zoom)'ボタンを5秒間押してください。ディスプレイの解像度が自動的に調整されます。
トリガーのかかったアラームを解除できません。	<ul style="list-style-type: none"> 'メニュー (menu)>装置 (device)>アラーム (alarm)>スケジュール (Schedule)'の時間 (hour)'オプションを'オフ (off)'または 'イベント (Event)'モードに変更してください。
PC からシステムへアクセスできません。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルが接続されていることをご確認ください。 PC上のIPアドレス構成をご確認ください。 ネットワークpingのテストを行ってください。 ネットワーク上で同一のIPアドレスを使用している別の装置がないかご確認ください。
システムに'HDD なし (NO HDD)'アイコンが表示され、エラーメッセージがポップアップ表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> HDDの接続状態をご確認ください。接続状態に異常がない場合、サービス提供業者にお問い合わせの上、HDDの確認をご依頼ください。
システムで録画ができません。	<ul style="list-style-type: none"> まずライブ画像をご確認ください。ライブに画像がない場合、録画されません。 録画構成が正しいことをご確認ください。正しい構成になっていない場合、録画されません。
録画した画像の画質がよくありません。	<ul style="list-style-type: none"> 'メニュー (Menu)>録画 (record)>録画プロファイル (Record profile)'の解像度 (resolution)'及び'ビットレート (bit rate)'オプションを変更してください。
録画フレームレートがカメラの構成済みフレームと違います。	<ul style="list-style-type: none"> カメラが複数のプロファイルを接続・使用している場合、構成済みのフレーム率よりも少ないフレーム数で作動していると思われます。同一のプロファイルをできるだけ単一の流れになるよう設定してください。つまり、'録画、ライブ及びネットワークプロファイル (Record, live and network profile)'と同一にしてください。
GPS 信号を受信できません。	<ul style="list-style-type: none"> GPSの接続状況をご確認ください。 GPSのアンテナを車両の外側に、空の方向へ平らに設置してください。アンテナの設置方法が間違っている場合、底部のマグネチックパッドにより受信するデータが不安定になります。
G センサーのイベントが停止状態なのにトリガーで発動します。	<ul style="list-style-type: none"> I/Oボックスのケーブルを取り外し、車両の進行方向に合わせてDIPスイッチを正しく設定し、ケーブルをもう一度接続してください。
電源を入れたところ、ビーブ音がします。	<ul style="list-style-type: none"> イベント構成設定をしたために、ビーブ音が発生するものと思われます。イベント設定をご確認ください。 'Micro SD (Micro SD)'を使用しないとき、HDDが'使用可能 (ready to use)'状態になるまではビーブ音がします。Micro SDを使用している場合、システムの温度がHDDの書き込み可能ポイントに到達するまでデータが保存され、温度に到達したときにHDDに切り替わります。
イグニッションオフした後もシステムが依然'ON (on)'の状態です。	<ul style="list-style-type: none"> 'メニュー (Menu)>システム情報 (System Information)'の'シャットダウン遅延 (Shutdown Delay)'オプションをご確認ください。設定時間中は、システムの電源がオンのままになります。

本製品に関するオープンライセンスレポート

本製品に同梱のソフトウェアには、GPL/LGPLのもとでライセンスを受けた、著作権で保護されたソフトウェアが含まれています。当社が本製品を出荷した最新の日付から3年間、対応する完全なソースコードを当社から入手いただけます。Eメールをhelp.cctv@hanwha.comまでお送りください。

また、当社はiOS Mobile Viewer iPOLiS Auto内のビデオデコーディング用のスタティックリンクとしてffmpegを使用しました。当社はこのiOS Mobile Viewer iPOLiS Auto内のビデオデコーディング関連のオブジェクトコードをご提供できます。

- GPLソフトウェア: linux kernel, u-boot, busybox, parted, ntfs-3g
- LGPLソフトウェア: glibc, ffmpeg
- OpenSSLライセンス: OpenSSL
- Apacheライセンス: mDNSResponder

/-----/

GNU 一般公衆利用許諾契約書
バージョン 2, 1991年6月

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
この利用許諾契約書を、一字一句そのままに複製し頒布することは許可する。しかし変更は認めない。

はじめに

ソフトウェア向けライセンスの大半は、あなたがそのソフトウェアを共有したり変更したりする自由を制限するように設計されています。対照的に、GNU 一般公衆利用許諾契約書は、あなたがフリーソフトウェアを共有したり変更したりする自由を保証する一すなわち、ソフトウェアがそのすべてのユーザーにとってフリーであることを保証することを目的としています。この一般公衆利用許諾契約書はフリーソフトウェア財団のソフトウェアのほとんどのに適用されており、またGNU GPLを適用すると決めたフリーソフトウェア財団以外の作者によるプログラムにも適用されています(いくつかのフリーソフトウェア財団のソフトウェアには、GNU GPLではなくGNU ライブラリー一般公衆利用許諾契約書が適用されています)。あなたもまた、ご自分のプログラムにGNU GPLを適用することが可能です。私たちがフリーソフトウェアと言うとき、それは利用の自由について言及しているのであって、価格は対象とされていません。私たちの一般公衆利用許諾契約書は、あなたがフリーソフトウェアの複製物を頒布する自由を保証するよう設計されています(希望に応じてその種のサービスに手数料を課す自由も保証されます)。また、あなたがソースコードを受け取るか、あるいは要望によりそれを入手することが可能であるということ、あなたがソフトウェアを変更し、その一部を新たなフリーのプログラムで利用できるということ、そして、以上で述べたようなことができるということがあなたに知られるということも保証されます。

あなたの権利を守るため、私たちは誰かがあなたの有するこれらの権利を否定することや、これらの権利を放棄するよう要求することを禁止するという制限を加える必要があります。よって、あなたがソフトウェアの複製物を頒布したりそれを変更したりする場合には、そういった制限のためにあなたにある種の責任が発生することになります。

例えば、あなたがフリーなプログラムの複製物を頒布する場合、有料か無料にかかわらず、あなたは自分が有する権利をすべて受領者に与えなければなりません。また、あなたは彼らもソースコードを受け取るか手に入れることができるよう保証しなければなりません。そして、あなたが彼らに対して以下で述べる条件を示し、彼らに自らの持つ権利について告知する必要があります。

私たちはあなたの権利を二段階の手段で保護します。(1) まずソフトウェアに対して著作権を主張し、そして(2) あなたに対して、ソフトウェアの複製や頒布または改変についての法的な許可を与えるこの契約書を提示します。

また、各作者や私たちを保護するため、私たちはこのフリーソフトウェアには何の保証もないということを誰もが確実に理解するようにし、またソフトウェアが本人以外の人物によって改変され、それが次々と頒布されていったとしても、その受領者は彼らが入手したソフトウェアがオリジナルのバージョンではないこと、そして原作者の名前は他人によって持ち込まれた可能性のある問題によって影響されることがないということを周知させることを意図しています。

最後に、ソフトウェア特許がいかなるフリーのプログラムの存在にも不断の脅威を投げかけていますが、私たちは、フリーなプログラムの再頒布者が個々に特許ライセンスを取得することによって、事実上プログラムを独占的にしてしまうという危険を避けたいと思います。こういった事態を防止するため、私たちはいかなる特許も誰もが自由に利用できるようライセンスされるか、まったくライセンスされないかのどちらかでなければならないことを明確にしました。

GNU 一般公衆利用許諾契約書複製、頒布、改変に関する条件と制約

0. この利用許諾契約書は、そのプログラム(またはその他の著作物)をこの一般公衆利用許諾契約書の定める条件の下で頒布できる、という告知が著作権者によって記載されたプログラムまたはその他の著作物全般に適用される。以下では、『プログラム』とはそのようにしてこの契約書が適用されたプログラムや著作物全般を意味し、また『プログラム』を基にした著作物とは『プログラム』やその他の著作権法の下で派生物と見なされるもの全般を指す。すなわち、『プログラム』かその一部を、まったく同一のままか、改変を加えたか、あるいは他の言語に翻訳された形で含む著作物のことである(「改変」という語の本来の意味からはずれるが、以下では翻訳も改変の一種と見なす)。それぞれの契約者は「あなた」と表現される。複製や頒布、改変以外の活動はこの契約書ではカバーされない。それらはこの契約書の対象外である。『プログラム』を実行する行為自体に制限はない。また、そのような『プログラム』の出力結果は、その内容が『プログラム』を基にした著作物を構成する場合のみこの契約書によって保護される(『プログラム』を実行したことによって作成されたということとは無関係である)。このような線引きの妥当性は、『プログラム』が何をするのに依存する。

1. それぞれの複製物において適切な著作権表示と保証の否認声明(disclaimer of warranty)を目立つよう適切に掲載し、またこの契約書及び一切の保証の不在に触れた告知すべてをそのまま残し、そしてこの契約書の複製物を『プログラム』のいかなる受領者にも『プログラム』と共に頒布する限り、あなたは『プログラム』のソースコードの複製物を、あなたが受け取った通りの形で複製または頒布することができる。媒体は問わない。あなたは、物理的に複製物を譲渡するという行為に関して手数料を課しても良いし、希望によっては手数料を取って交換における保護の保証を提供しても良い。

2. あなたは自分の『プログラム』の複製物かその一部を改変して『プログラム』を基にした著作物を形成し、そのような改変点や著作物を上記第1節の定める条件の下で複製または頒布することができる。ただし、そのためには以下の条件すべてを満たしていなければならない:

- a) あなたがそれらのファイルを変更したということと変更した日時が良くわかるよう、改変されたファイルに告示しなければならない。
- b) 『プログラム』またはその一部を含む著作物、あるいは『プログラム』かその一部から派生した著作物を頒布あるいは発表する場合には、その全体をこの契約書の条件に従って第三者へ無償で利用許諾しなければならない。
- c) 改変されたプログラムが、通常実行する際に対話的にコマンドを読むようになっているならば、そのプログラムを最も一般的な方法で対話的に実行する際、適切な著作権表示、無保証であること(あるいはあなたが保証を提供するという)、ユーザーがプログラムをこの契約書で述べた条件の下で頒布することができるということ、そしてこの契約書の複製物を閲覧するにはどうしたらよいかというユーザーへの説明を含む告知が印刷されるか、あるいは画面に表示されるようにしなければならない(例外として、『プログラム』そのものは対話的であっても通常そのような告知を印刷しない場合には、『プログラム』を基にしたあなたの著作物にそのような告知を印刷させる必要はない)。

以上の必要条件は全体としての改変された著作物に適用される。著作物の一部が『プログラム』から派生したものではないと確認でき、それら自身別の独立した著作物であると合理的に考えられるならば、あなたがそれらを別の著作物として分けて頒布する場合、そういった部分にはこの契約書とその条件は適用されない。しかし、あなたが同じ部分を『プログラム』を基にした著作物全体の一部として頒布するならば、全体としての頒布物は、この契約書が課す条件に従わなければならない。というのは、この契約書が他の契約者に与える許可は『プログラム』丸ごと全体に及び、誰が書いたかは関係なく各部分のすべてを保護するからである。よって、すべてあなたによって書かれた著作物に対し、権利を主張したり、あなたの権利に異議を申し立てたりすることはこの節の意図するところではない。むしろ、その趣旨は『プログラム』を基にした派生物ないし集合著作物の頒布を管理する権利を行使することにある。また、『プログラム』を基にしていなくても他の著作物を『プログラム』(あるいは『プログラム』を基にした著作物)と一緒に集めただけのものを一巻の保管装置ないし頒布媒体に収めても、その他の著作物までこの契約書が保護する対象になるということにはならない。

3. あなたは上記第1節及び2節の条件に従い、『プログラム』(あるいは第2節における派生物)をオブジェクトコードないし実行形式で複製または頒布することができる。ただし、その場合あなたは以下のうちどれか一つを実施しなければならない:

- a) 著作物に、『プログラム』に対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを添付する。ただし、ソースコードは上記第1節及び2節の条件に従いソフトウェアの交換で習慣的に使われる媒体で頒布しなければならない。あるいは、
- b) 著作物に、いかなる第三者に対しても、『プログラム』に対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを、頒布に要する物理的コストを上回らない程度の手数料と引き換えに提供する旨述べた少なくとも3年間は有効な書面になった申し出を添える。ただし、ソースコードは上記第1節及び2節の条件に従いソフトウェアの交換で習慣的に使われる媒体で頒布しなければならない。あるいは、
- c) 対応するソースコード頒布の申し出に際して、あなたが得た情報を一緒に引き渡す(この選択肢は、営利を目的としない頒布であっても、かつあなたが上記小節bで指定されているような申し出と共にオブジェクトコードあるいは実行形式のプログラムしか入手していない場合に限り許可される)。

著作物のソースコードとは、それに対して改変を加える上で好ましいとされる著作物の形式を意味する。ある実行形式の著作物にとって完全なソースコードとは、それが含むモジュールすべてのソースコード全部に加え、関連するインターフェース定義ファイルのすべてとライブラリのコンパイルやインストールを制御するために使われるスクリプトをも加えたものを意味する。しかし特別な例外として、そのコンポーネント自体が実行形式に付随するのではない限り、頒布されるものの中に、実行形式が実行されるオペレーティングシステムの主要なコンポーネント(コンパイラやカーネル等)と通常一緒に(ソースかバイナリ形式のどちらかで)頒布されるものを含んでいる必要はないものとする。実行形式またはオブジェクトコードの頒布が、指定された場所からコピーするためのアクセス手段を提供することで為されることにより、あなた自身がそのような行為を行うためにこの契約書を受諾したということ、そして『プログラム』とそれに基づく著作物の複製や頒布、改変についてこの契約書が課す制約と条件をすべて受け入れたということを示したものと見なす。

4. あなたは『プログラム』を、この契約書において明確に提示された行為を除き、複製や改変、サブライセンス、あるいは頒布してはならない。他に『プログラム』を複製や改変、サブライセンス、あるいは頒布する企てはすべて無効であり、この契約書の下でのあなたの権利を自動的に終結させることになる。しかし、複製物や権利をこの契約書に従ってあなたから得た人々に関しては、そのような人々がこの契約書に完全に従っている限り彼らのライセンスまで終結することはない。

5. あなたはこの契約書を受諾する必要はない。というのは、あなたはこれに署名していないからである。しかし、この契約書以外にあなたに対して『プログラム』やその派生物を改変または頒布する許可を与えるものは存在しない。これらの行為は、あなたがこの契約書を受け入れない限り法によって禁じられている。そこで、『プログラム』(あるいは『プログラム』を基にした著作物全般)を改変ないし頒布することにより、あなたは自分がそのような行為を行うためにこの契約書を受諾したということ、そして『プログラム』とそれに基づく著作物の複製や頒布、改変についてこの契約書が課す制約と条件をすべて受け入れたということを示したものと見なす。

6. あなたが『プログラム』(または『プログラム』を基にした著作物全般)を再頒布するたびに、その受領者は元々のライセンス許可者から、この契約書で指定された条件と制約の下で『プログラム』を複製や頒布、あるいは改変する許可を自動的に得るものとする。あなたは、受領者がここで認められた権利を行使することに関してこれ以上他のいかなる制限も課してはならない。あなたには、第三者がこの契約書に従うことを強制する責任はない。

7. 特許侵害あるいはその他の理由(特許関係に限らない)から、裁判所の判決あるいは申し立ての結果としてあなたに(裁判所命令や契約などにより)このライセンスの条件と矛盾する制約が課された場合でも、あなたがこの契約書の条件を免除されるわけではない。もしこの契約書の下であなたに課せられた責任と他の関連する責任を同時に満たすような形で頒布できないならば、結果としてあなたは『プログラム』を頒布することがまったくできないということである。例えば特許ライセンスが、あなたから直接間接を問わずコピーを受け取った人が誰でも『プログラム』を使用料無料で再頒布することを認めていない場合、あなたがその制約とこの契約書を両方とも満たすには『プログラム』の頒布を完全に中止する必要がある。

この節の一部分が特定の状況の下で無効ないし実施不可能な場合でも、節の残りの部分は適用されるよう意図されている。その他の状況では節が全体として適用されるよう意図されている。

特許やその他の財産権を侵害したり、そのような権利の主張の効力に異議を唱えたりするようあなたを誘惑することがこの節の目的ではない。この節には、人々によってライセンス慣行として実現されてきた、フリーソフトウェア頒布のシステムの完全性を護るという目的しかない。多くの人々が、フリーソフトウェアの頒布システムが首尾一貫して適用されているという信頼に基づき、このシステムを通じて頒布される多様なソフトウェアに寛大な貢献をしてきたのは事実であるが、人がどのようなシステムを通じてソフトウェアを頒布したいと思うかはあくまでも作者/寄与者次第であり、あなたが選択を押しつけることはできない。

この節は、この契約書のこの節以外の部分の一帰結になると考えられるケースを徹底的に明確化することを目的としている。

8. 『プログラム』の頒布や利用が、ある国においては特許または著作権が主張されたインターフェースのいずれかによって制限されている場合、『プログラム』にこの契約書を適用した元の著作権者は、そういった国々を排除した明確な地理的頒布制限を加え、そこで排除されていない国の中やそれらの国々の間でのみ頒布が許可されるようにしても構わない。その場合、そのような制限はこの契約書本文で書かれているのと同様に見なされる。

9. フリーソフトウェア財団は、時によって改訂または新版の一般公衆利用許諾書を発表することができる。そのような新版は現在のバージョンとその精神においては似たものになるだろうが、新たな問題や懸念を解決するため細部では異なる可能性がある。

それぞれのバージョンには、見分けがつくようにバージョン番号が振られている。『プログラム』においてそれに適用されるこの契約書のバージョン番号が指定されていて、更に「それ以降のいかなるバージョン(any later version)」も適用して良いとなっていた場合、あなたは従う条件と制約として、指定のバージョンか、フリーソフトウェア財団によって発行された指定のバージョン以降の版のどれか一つのどちらかを選ぶことができる。『プログラム』でライセンスのバージョン番号が指定されていないならば、あなたは今までにフリーソフトウェア財団から発行されたバージョンの中から嗜好に応じて選んで構わない。

10. もしあなたが『プログラム』の一部を、その頒布条件がこの契約書と異なる他のフリーなプログラムと統合したいならば、作者に連絡して許可を求めよ。フリーソフトウェア財団が著作権を保有するソフトウェアについては、フリーソフトウェア財団に連絡せよ。私たちは、このような場合のために特別な例外を設けることもある。私たちが決定を下すにあたっては、私たちのフリーソフトウェアの派生物すべてがフリーな状態に保たれるということと、一般的にソフトウェアの共有と再利用を促進するという二つの目標を基準に検討されるであろう。

無保証について

11. 『プログラム』は代価なしに利用が許可されるので、適切な法が認める限りにおいて、『プログラム』に関するいかなる保証も存在しない。書面で別に述べる場合を除いて、著作権者、またはその他の団体は、『プログラム』を、表明されたか言外にかは問わず、商業的適性を保証するほのめかしやある特定の目的への適合性(に限られない)を含む一切の保証なしに「あるがまま」で提供する。『プログラム』の質と性能に関するリスクのすべてはあなたに帰属する。『プログラム』に欠陥があると判明した場合、あなたは必要な保守点検や補修、修正に要するコストのすべてを引き受けることになる。

12. 適切な法が書面での同意によって命ぜられない限り、著作権者、または上記で許可されている通りに『プログラム』を改変または再頒布したその他の団体は、あなたに対して『プログラム』の利用ないし利用不能で生じた通常損害や特別損害、偶発損害、間接損害(データの消失や不正確な処理、あなたか第三者が被った損失、あるいは『プログラム』が他のソフトウェアと一緒に動作しないという不具合などを含むがそれらに限らない)に一切の責任を負わない。そのような損害が生ずる可能性について彼らが忠告されていたとしても同様である。

条件と制約終わり

以上の条項をあなたの新しいプログラムに適用する方法

あなたが新しいプログラムを開発したとして、公衆によってそれが利用される可能性を最大にしたい場合は、そのプログラムをこの契約書の条項に従って誰でも再頒布あるいは変更できるようフリーソフトウェアにするのが最善です。

そのためには、プログラムに以下のような表示を添付してください。その場合、保証が排除されているということを最も効果的に伝えるために、それぞれのソースファイルの冒頭に表示を添付すれば最も安全です。少なくとも、「著作権表示」という行と全文がある場所へのポインタだけは各ファイルに含めて置いてください。

<プログラムの名前と、それが何をするかについての簡単な説明。>

Copyright (C) <西暦年> <作者の名前>

このプログラムはフリーソフトウェアです。あなたはこれを、フリーソフトウェア財団によって発行された GNU 一般公衆利用許諾契約書(バージョン2か、希望によってはそれ以降のバージョンのうちどれか)の定める条件の下で再頒布または改変することができます。

このプログラムは有用であることを願って頒布されますが、*まったくの無保証* です。商業可能性の保証や特定の目的への適合性は、言外に示されたものも含めまったく存在しません。詳しくはGNU 一般公衆利用許諾契約書をご覧ください。

あなたはこのプログラムと共に、GNU 一般公衆利用許諾契約書の複製物を一部受け取ったはずですが、もし受け取っていないければ、フリーソフトウェア財団まで請求してください(宛先は the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA)。

電子ないし紙のメールであなたに問い合わせる方法についての情報も書き加えましょう。

プログラムが対話的なものならば、対話モードで起動した際に出力として以下のような短い告知が表示されるようにしてください:

Gnomovision バージョン 69, Copyright (C) 西暦年 作者の名前

Gnomovision は*まったくの無保証*で提供されます。詳しくは「show w」とタイプしてください。これはフリーソフトウェアであり、ある条件の下で再頒布することが奨励されています。詳しくは「show c」とタイプしてください。

ここで、仮想的なコマンド「show w」と「show c」は一般公衆利用許諾契約書の適切な部分を表示するようになっていなければなりません。もちろん、あなたが使うコマンドを「show w」や「show c」と呼ぶ必然性はありませんので、あなたのプログラムに合わせてマウスのクリックやメニューのアイテムにしても結構です。

また、あなたは、必要ならば(プログラマーとして働いている場合)あなたの雇用主、あるいは場合によっては学校から、そのプログラムに関する「著作権放棄声明(copyright disclaimer)」に署名してもらうべきです。以下は例ですので、名前を変えてください:

Yoyodyne社はここに、James Hackerによって書かれたプログラム「Gnomovision」(コンパイラへ通すプログラム)に関する一切の著作権の利益を放棄します。

<Ty Coon氏の署名>、1989年4月1日
Ty Coon、副社長

この一般公衆利用許諾契約書では、あなたのプログラムを独占的なプログラムに統合することを認めていません。あなたのプログラムがサブルーチンライブラリならば、独占的なアプリケーションとあなたのライブラリをリンクすることを許可したほうがより便利であると考えられるかもしれませんが。もしこれがあなたの望むことならば、この契約書の代わりにGNU ライブラリ一般公衆利用許諾契約書を適用してください。

/-----/

GNU 劣等一般公衆利用許諾書
バージョン3、2007年6月29日

Copyright (C) 2007 Free Software Foundation, Inc. <<http://fsf.org/>>
本ライセンス文書を、一字一句忠実に複製、頒布することは許可する。しかし変更は認めない。

このバージョンのGNU 劣等一般利用許諾書では、GNU 一般公衆利用許諾書(GNU General Public License)バージョン3が規定する利用条件を取り込んだ上で、以下に列挙する追加的許可で補足するものとする。

0. 追加された定義

本文中で使われている通り、「本許諾書」はGNU 劣等一般公衆利用許諾書バージョン3を指す。「GNU GPL」は、GNU 一般公衆利用許諾書バージョン3を指す。

『ライブラリ』(The Library)とは、本許諾書の下で管理された『保護された作品』のうち、以下で定義する『アプリケーション』や『結合された作品』以外のものを指す。

『アプリケーション』(Application)とは、『ライブラリ』が提供するインターフェースを利用するが、『ライブラリ』を基にはしていない作品すべてのことである。『ライブラリ』によって定義されたクラスの下位クラスを定義するのは、『ライブラリ』が提供するインターフェースの利用の一形態と見なされる。

『結合された作品』(Combined Work)とは、『アプリケーション』と『ライブラリ』を結合ないしリンクすることによって作成された作品のことである。また、それによって『結合された作品』が作られた特定のバージョンの『ライブラリ』は、『リンクされたバージョン』(Linked Version)と呼ばれる。

『結合された作品』に対する『最小限の対応するソース』(Minimal Corresponding Source)とは、『結合された作品』に対する(訳注: GPLv3における)『対応するソース』のことを意味する。ただし、『結合された作品』に含まれる部分のうち、そのみを分離して考えた場合、『アプリケーション』を基にしているが、『リンクされたバージョン』は基にしていない部分のソースコードのすべては除外される。

『結合された作品』に『対応するアプリケーションコード』(Corresponding Application Code)とは、『アプリケーション』のオブジェクトコードかソースコードを意味する。『対応するアプリケーションコード』には、『アプリケーション』から『結合された作品』を再生成するために必要なデータやユーティリティ・プログラムすべてが含まれるが、『結合された作品』の『システムライブラリ』は除く。

1. GNU GPL第3項への例外.

あなたは本許諾書の第3項及び第4項に従い、『保護された作品』を伝達することができる。その際、GNU GPL第3項の第2段落に束縛される必要はない。

2. 改変されたバージョンの伝達

『ライブラリ』のコピーを改変し、かつあなたの改変点において、ある機能が(その機能が呼び出される際に引数として渡されるものを除いて)その機能を利用する『アプリケーション』から提供される関数やデータを参照する場合、以下のどちらかに従えば、あなたは改変されたバージョンのコピーを伝達することができる:

a) 本許諾書に従って伝達する。ただし、『アプリケーション』が関数やデータを提供しない場合でも、その機能が依然として動作し、機能の目的のうち意味あるものとして残った部分はすべて実行するよう誠実な配慮を尽くさなければならない。あるいは、

b) GNU GPLに従って伝達する。この場合、本ライセンス文書によってそのコピーに適用可能な追加的許可は一切認められない。

3. ライブラリのヘッダファイルに由来するコードや各種データを取り込んだオブジェクトコード

オブジェクトコード形式の『アプリケーション』は、『ライブラリ』の一部であるヘッダファイルに含まれるコードや各種データを取り込むことができる。あなたは、そのようなオブジェクトコードを、あなたが選択したいかなる条項の下でも複製、伝達して構わない。ただし、取り込まれたコード等が数値的パラメータや、データ構造のレイアウトやアクセサ、小さなマクロ、インライン関数やテンプレート(長さにして10行以下)ではない場合、あなたは以下の両方を行わなければならない。

a) オブジェクトコードのコピーそれぞれにおいて、『ライブラリ』がその中で利用されており、『ライブラリ』とその利用は本許諾書によって保護されている旨を目立つように告知する。

b) オブジェクトコードに、GNU GPLと本許諾書のコピーを添付する。

4. 結合された作品

あなたは、『結合された作品』に含まれる『ライブラリ』部分の改変を事実上禁止したり、そのような改変をデバッグするためのリバースエンジニアリングを禁止したりしない限り、『結合された作品』をあなたが選択したいかなる条件の下でも複製、伝達して構わない。ただしその場合、以下をすべて行う必要がある：

a) 『ライブラリ』が『結合された作品』中で利用されており、また『ライブラリ』とその利用は本許諾書によって保護されるということを、『結合された作品』のコピーそれぞれにおいて目立つように告知する。

b) 『結合された作品』に、GNU GPLと本ライセンス文書のコピーを添付する。

c) 実行中に『コピーライト』告知を表示する『結合された作品』の場合、そういった告知文中に『ライブラリ』の著作権告知と、ユーザーに対してGNU GPLと本ライセンス文書のコピーがどこにあるかを示す参照先情報を含める。

d) 以下のどれか一つを行う：

0) 本許諾書の条項に従い、『最小限の対応するソース』を伝達する。また、『対応するアプリケーションコード』を、『対応するソース』の伝達に関して GNU GPL第6項が指定しているのと同様のやり方で、ユーザーが『アプリケーション』を『ライブラリ』の改変されたバージョンと再結合または再リンクして改変された『結合された作品』を作成するのに適した形式、かつそういった再結合や再リンクを許可する条項の下で伝達する。

1) 『ライブラリ』をリンクするのに適した共有ライブラリメカニズムを利用する。適したメカニズムとは、(a)実行時すでにユーザーのコンピュータシステムに存在する『ライブラリ』のコピーを利用し、(b)『リンクされたバージョン』とインターフェースに互換性がある『ライブラリ』の改変されたバージョンと共に適切に機能するものである。

e) 『インストール用情報』を提供する。ただしこれはGNU PL第6項に従いそのような情報を提供することが義務付けられている場合に限られ、またそのような情報が、『リンクされたバージョン』の改変されたバージョンと『アプリケーション』を再結合ないし再リンクすることによって作成された『結合された作品』の改変されたバージョンをインストール、実行するのに必要とされる限りにおいてのみである(あなたが小項4dの0を選択する場合、『インストール用情報』は『最小限の対応するソース』と『対応するアプリケーションコード』と共に供しなければならない。あなたが小項4dの1を選択する場合、あなたは『インストール用情報』をGNU GPL第6項が『対応するソース』の伝達に関して指定するのと同様のやり方で提供しなければならない)。

5. 結合されたライブラリ

あなたは、『ライブラリ』を基にした作品であるライブラリ機能を、『アプリケーション』ではなく、かつ本許諾書で保護されていない他のライブラリ機能と一緒に、単一のライブラリ内で並置し、そのような結合されたライブラリをあなたが選んだ条項に従って伝達することができる。ただしその場合、以下の両方を行わなければならない。

a) 結合されたライブラリに、他のいかなるライブラリ機能とも結合されておらず、本許諾書の条項に従って伝達される、元のままの『ライブラリ』を基にした作品のコピーを添付する。

b) その一部が『ライブラリ』を基にした作品である結合されたライブラリに、対応する結合されていない形式の同じ作品がどこで見つかるかを説明した目立つ告知を載せる。

6. GNU 劣等一般公衆利用許諾書の改訂されたバージョン

フリーソフトウェア財団は、改訂された、あるいは新しいバージョンのGNU 劣等一般公衆利用許諾書を折りに触れて発行することができる。そのような新バージョンは、その精神においては現在のバージョンと似たものになるだろうが、細部については新たに生じた問題や懸念を解決すべく異なるものになるだろう。

それぞれのバージョンには、見分けがつけようようなバージョン番号が振られている。あなたが受領した『ライブラリ』において、ある特定のバージョン番号が振られたGNU 劣等一般公衆利用許諾書「かそれ以降のバージョンのいずれか (or any later version)」が適用されると指定されていた場合、あなたは指定された番号のバージョンか、それ以降にフリーソフトウェア財団によって発行されたバージョンのいずれかのバージョンのどちらの利用条件に従うかを選ぶことができる。あなたが受領した『ライブラリ』が特定のバージョン番号の GNU 劣等一般公衆利用許諾書を指定していなかった場合には、あなたはフリーソフトウェア財団がそれまでに発行したGNU 劣等一般公衆利用許諾書のバージョンの中からどれを選択しても構わない。

あなたが受領した『ライブラリ』において、GNU 劣等一般公衆利用許諾書の将来のバージョンのうちどれが適用されうかは代理人が

決定できる、と指定されていた場合、その代理人が、あるバージョンを受諾すると述べた公的な声明は、あなたに対し、その『ライブラリ』に関してそのバージョンのGNU LGPLを選ぶことを永続的かつ正式に許可するのと等しい。

/-----/

OpenSSL ライセンス

/* =====

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

*/

ソース及びバイナリ形式での再配布及び使用は、変更の有無にかかわらず、次の条件を満たす場合に許可されます。

1. ソース・コードを再配布する場合には、上記の著作権表示、この使用条件及び以下の免責表示を含める必要があります。
2. バイナリ形式で再配布する場合には、上記の著作権表示、以下の使用条件及び免責表示を、配布に際して提供する関連文書及び資料に記載する必要があります。
3. このソフトウェアの機能または使用について言及するすべての広告用材料では、次の謝辞を表示する必要があります。「この製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL Project によって開発されたソフトウェアが組み込まれています。
(<http://www.openssl.org/>)」
4. 事前の書面による許可がなければ、「OpenSSL Toolkit」と「OpenSSL Project」の名前を、このソフトウェアから派生した製品の承認または促進に使用してはなりません。書面による許可が必要な場合は、openssl-core@openssl.org に連絡してください。
5. OpenSSL Project の事前の書面による許可がなければ、このソフトウェアから派生した製品を「OpenSSL」と呼ぶことはできませんし、また、それらの製品の名前に「OpenSSL」が含まれてはなりません。
6. いかなる形の再配布にも、次の謝辞が含まれていなければなりません。「この製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL Project によって開発されたソフトウェアが含まれています (<http://www.openssl.org/>)」

OpenSSL Project は、このソフトウェアを特定物として現存するままの状態を提供し、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証及び特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負いません。起こりうる損害について予見の有無を問わず、「ソフトウェア」を使用したために生じる、直接的、間接的、付带的、特別、懲罰的、または結果的損害（代替の製品またはサービスの調達、データまたは利益の喪失、事業の中断などを含み、他のいかなる場合も含む）については、それが契約、厳格な責任、不法行為（過失の場合もそうでない場合も含む）など、いかなる責任の理論においても、OpenSSL Project 及びその寄稿者はその責任を負いません。

この製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) により作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。この製品には、Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) により作成されたソフトウェアが含まれています。

オリジナルの SSLeay ライセンス

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

All rights reserved.

このパッケージは、Eric Young (eay@cryptsoft.com) により作成された SSL インプリメンテーションです。このインプリメンテーションは、Netscape SSL に準拠するように作成されています。

このライブラリは、以下の条件に従う限り、無料で商業及び非商業の使用が許可されます。以下の条件は、単に SSL コードだけでなく、この配布に含まれるすべてのコードに適用されます。この場合、そのコードが RC4、RSA、lhash、DES、などにいずれであっても構いません。この配布に含まれる SSL 資料は、著作権所有者が Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) である点を除き、同一著作権によってカバーされます。

著作権は Eric Young が所有していますので、コードの著作権表示を除去してはなりません。このパッケージをいずれかの製品に使用する場合は、使用するライブラリ部分の作成者として Eric Young を特定する必要があります。これは、プログラム始動時に、またはこのパッケージと一緒に提供される資料（オンラインまたはテキスト）にテキスト形式のメッセージとして含めることができます。

ソース及びバイナリ形式での再配布及び使用は、変更の有無にかかわらず、次の条件を満たす場合に許可されます。

1. ソース・コードを再配布する場合には、この著作権表示、この使用条件及び以下の免責表示を含める必要があります。
2. バイナリ形式で再配布する場合には、上記の著作権表示、以下の使用条件及び免責表示を、配布に際して提供する関連文書及び資料に記載する必要があります。
3. このソフトウェアの機能と使用に言及するすべての広告用材料では、次のような謝辞を表示する必要があります。「この製品には、Eric Young 氏 (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号ソフトウェアが含まれています。使用するライブラリからのルーチンが暗号に関係ない場合は、「暗号」という語を省略することができます。
4. apps ディレクトリ（アプリケーション・コード）からの Windows 固有のコード（またはその派生物）を組み込む場合は、次の謝辞を含める必要があります。「この製品には、Tim Hudson 氏 (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれています」。

Eric Young は、このソフトウェアを特定物として現存するままの状態を提供し、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証及び特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負いません。起こりうる損害について予見の有無を問わず、「ソフトウェア」を使用したために生じる、直接的、間接的、付带的、特別、懲罰的、または結果的損害（代替の製品またはサービスの調達、データまたは利益の喪失、事業の中断などを含み、他のいかなる場合も含む）については、それが契約、厳格な責任、不法行為（過失の場合もそうでない場合も含む）など、いかなる責任の理論においても、作成者及び寄稿者はその責任を負いません。

このコードのすべての公開済みバージョンまたは派生物のライセンス及び配布条件は、変更できません。すなわち、このコードは、単にコピーすることも、他の配布ライセンス（GNU Public Licence も含む）に含めることもできません。

/-----/

Apache License
Version 2.0, 2004年1月
<http://www.apache.org/licenses/>

使用、複製、及び頒布に関する条項

1. 定義

「ライセンス」とは、このドキュメントの第1項から第9項までで定義している、使用、複製、及び頒布に関する条項を指します。

「ライセンサー」とは、著作権所有者、あるいは著作権所有者がライセンス付与対象として認めた者を指します。

「法人」とは、行為者と、行為者を管理するか行為者により管理されるか行為者共通の管理下にある他のすべての者から成る連合体を指します。

この定義における「管理」とは、(i) 契約またはその他により、直接または間接的にこの法人の指揮・経営を行う権限、または (ii) この法人の50%以上の株式の所有権または (iii) 受益所有権を有することを指します。

「あなた」とは、本ライセンスにより付与される権利を行使する個人または法人を指します。

「ソース」形式とは、ソフトウェアのソースコード、ドキュメントソース、設定ファイルといった、変更を加えるのに好都合な形式を指します。

「オブジェクト」形式とは、コンパイルされたオブジェクトコード、生成されたドキュメント、他のメディアへの変換物といった、ソース形式の機械的な変換により生じる形式を指します。

「成果物」とは、ソース形式であるとオブジェクト形式であるとを問わず、製作物に挿入または添付される（後出の付録に例がある）著作権表示で示された著作物で、本ライセンスに基づいて利用が許されるものを指します。

「派生成果物」とは、編集上の改訂、注解、推敲など、成果物を基にして全体としてオリジナル著作物と呼べるような製作物全般を指します。本ライセンスでは、成果物や派生成果物から分離できる製作物や、成果物や派生成果物のインターフェースへの単なるリンク（または名前によるバインド）を、派生成果物に含めません。

「コントリビューション」とは、成果物のオリジナルバージョンならびに成果物または派生成果物への変更や追加も含めて、著作権所有者あるいは著作権所有者が認めた個人または法人による成果物への組み込みを意図してライセンサーに提出される著作物全般を指します。この定義における「提出」とは、成果物を論じたり改良したりするためにライセンサーまたはその代理者により管理される電子的メーリングリスト、ソースコード管理システム、問題追跡システムといった、電子的方法、口頭、または書面で、ライセンサーまたはその代理者に情報を送ることを指します。ただし、著作権所有者が書面で「コントリビューションでない」と明示したものは除きます。

「コントリビューター」とは、ライセンサー及びその代理を務める個人または法人で、自分のコントリビューションがライセンサーに受領されて成果物に組み込まれた者を指します。

2. 著作権ライセンスの付与本ライセンスの条項に従って、各コントリビューターはあなたに対し、ソース形式であれオブジェクト形式であれ、成果物及び派生成果物を複製したり、派生成果物を作成したり、公に表示したり、公に実行したり、サブライセンスしたり、頒布したりする、無期限で世界規模で非独占的で使用料無料で取り消し不能な著作権ライセンスを付与します。

3. 特許ライセンスの付与。本ライセンスの条項に従って、各コントリビューターはあなたに対し、成果物を作成したり、使用したり、販売したり、販売用に提供したり、インポートしたり、その他の方法で移転したりする、無期限で世界規模で非独占的で使用料無料で取り消し不能な（この項で明記したものは除く）特許ライセンスを付与します。ただし、このようなライセンスは、コントリビューターによってライセンス可能な特許申請のうち、当該コントリビューターのコントリビューションを単独または該当する成果物と組み合わせて用いることで必然的に侵害されるものにのみ適用されます。あなたが誰かに対し、交差請求や反訴を含めて、成果物あるいは成果物に組み込まれたコントリビューションが直接または間接的な特許侵害に当たるとして特許訴訟を起こした場合、本ライセンスに基づいてあなたに付与された特許ライセンスは、そうした訴訟が正式に起こされた時点で終了するものとします。

4. 再頒布あなたは、ソース形式であれオブジェクト形式であれ、変更の有無にかかわらず、以下の条件をすべて満たす限りにおいて、成果物またはその派生成果物のコピーを複製したり頒布したりすることができます。

(a) 成果物または派生成果物の他の受領者に本ライセンスのコピーも渡すこと。

(b) 変更を加えたファイルについては、あなたが変更したということがよくわかるような告知を入れること。

(c) ソース形式の派生物を頒布する場合は、ソース形式の成果物に含まれている著作権、特許、商標、及び帰属についての告知を、派生物のどこにも関係しないものは除いて、すべて派生物に入れること。

(d) 成果物の一部として「NOTICE」に相当するテキストファイルが含まれている場合は、そうしたNOTICEファイルに含まれている帰属告知のコピーを、派生物のどこにも関係しないものは除いて、頒布する派生物に入れること。その際、次のうちの少なくとも1箇所に挿入すること。(i) 派生物の一部として頒布するNOTICEテキストファイル、(ii) ソース形式またはドキュメント(派生物と共にドキュメントを頒布する場合)、(iii) 派生物によって生成される表示(こうした第三者告知を盛り込むことが標準的なやり方になっている場合)。NOTICEファイルの内容はあくまで情報伝達用であって、本ライセンスを修正するものであってはなりません。あなたは頒布する派生物に自分の帰属告知を(成果物からのNOTICEテキストに並べて、またはその付録として)追加できますが、これはそうした追加の帰属告知が本ライセンスの修正と解釈されるおそれがない場合に限られます。

あなたは自分の修正物に自らの著作権表示を追加することができ、自分の修正物の使用、複製、または頒布について、あるいはそうした派生物の全体について、付加的なライセンス条項または異なるライセンス条項を設けることができます。ただし、これは成果物についてのあなたの使用、複製、及び頒布が、それ以外の点で本ライセンスの条項に従っている場合に限られます。

5. コントリビューションの提出。特に断りがない限り、あなたが成果物への組み込みを意図してライセンサーに提出したコントリビューションは、付加的な条項がなければ、本ライセンスの条項に従うものとします。上述の規定にかかわらず、そうしたコントリビューションに関してあなたがライセンサーと結んだかもしれない別のライセンス契約の条項を、ここで無効にしたり修正したりすることはありません。

6. 商標本ライセンスでは、成果物の出所を記述したりNOTICEファイルの内容を複製したりするときに必要になる妥当で慣習的な使い方は別として、ライセンサーの商号、商標、サービスマーク、または製品名の使用権を付与しません。

7. 保証の否認適用される法律または書面での同意によって命じられない限り、ライセンサーは成果物を(そしてコントリビューターは各自のコントリビューションを)「現状のまま」提供するものとし、明示黙示を問わず、タイトル、非侵害性、商業的な使用可能性、及び特定の目的に対する適合性を含め、いかなる保証も条件も提供しません。あなたは成果物の使用や再頒布の適切性を自分で判断する責任を持つと共に、本ライセンスにより付与される権利を行使することに伴うすべてのリスクを負うことになります。

8. 責任の制限。いかなる条件及び法理論においても、不法行為(過失を含む)、契約、またはその他いかなる場合でも、適用される法律または書面での同意によって命じられない限り、コントリビューターは本ライセンスまたは成果物の使い方に関連して生じる直接損害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損害、または結果損害を含め、営業権の損失、業務の停止、コンピュータ障害または誤作動、その他の商業上の損害や損失など、いかなる損害に対しても、たとえそうした損害の可能性をたとえ知らされていたとしても、あなたに責任を負わないものとします。

9. 保証または追加的責任の引き受け。成果物またはその派生物を再頒布する際、あなたはサポート、保証、損害補償、またはその他の責任や、本ライセンスに矛盾しない権利を提示し、これを有料にすることができます。ただし、そうした責任を引き受ける場合、あなたはそれを自分自身のためにだけ自己責任として行えるのであって、他のコントリビューターのために行うことはできません。また、あなたはそうした保証や追加的責任のせいで他のコントリビューターに責任が降りかかり、賠償要求が出されたりしたとしても、それらのコントリビューターに損害が及ぶのを防ぐと共に各コントリビューターの損害を補償することに同意しなければなりません。

使用、複製、及び頒布に関する条項の終わり

付録: Apache Licenseの適用の仕方

あなたの製作物にApache Licenseを適用するときは、次の定型文を添付してください。ただし、“[]”で囲まれている部分は、あなた自身の識別情報に置き換えてください(その際、角括弧は取り除きます)。また、この文言を該当するファイル形式に合ったコメント構文で囲んでください。さらに、第三者アーカイブ内での識別を容易にするため、ファイル名またはクラス名ならびに趣旨説明が著作権表示と同じ「印刷ページ」に現れるようにすることをお勧めします。Copyright [yyyy] [著作権所有者の名前]

Apache License Version 2.0(「本ライセンス」)に基づいてライセンスされます。あなたがこのファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記の場所から入手できます。

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

適用される法律または書面での同意によって命じられない限り、本ライセンスに基づいて頒布されるソフトウェアは、明示黙示を問わず、いかなる保証も条件もなしに「現状のまま」頒布されます。

本ライセンスでの権利と制限を規定した文言については、本ライセンスを参照してください。

/-----/

Hanwha Techwin社は、すべての製品に関して環境条件を考慮して製造し、多くのステップを経て、環境に優しい製品を供給しています。Ecoマークは環境に優しい製品を製造する**Hanwha Techwin社**の意思を示すもので、EU RoHS指令を満足する製品であることを示します。

本製品の正しい処分方法（電気・電子機器の廃棄物）

（分別回収システムと、欧州連合（EU）内で適用し、他のヨーロッパ諸国）

これは、製品のマーキング、アクセサリや文献は、製品とその電子アクセサリ（例えば充電器、ヘッドセット、USBケーブルが）ベドは自分の作業の人生の終わりに他の家庭廃棄物と一緒に提起されていないことを示します。トップ再未制御廃棄物処理から環境や人間の健康に害を及ぼす可能性を、他の廃棄物からこれらの項目を分離し、材料資源の持続可能な再利用を促進するために責任を持ってリサイクルしてください。家庭ユーザーは、環境に安全なリサイクルのために、これらのアイテムを取ることができる場所と方法の詳細については、彼らがこの製品を購入した小売店、または地元の役所のいずれかにご連絡ください。ビジネスユーザーは、サプライヤーに連絡し、購入契約の条件を確認してください。本製品とその電子付属品は処分のための他の商業廃棄物と混合されるべきではありません。

本製品のバッテリーの正しい処分方法

（欧州連合と独立したバッテリーリターンシステムと他のヨーロッパ諸国で使用できます。）

これは、バッテリーのマーキング、手動またはパッケージは、本製品の電池は、その作業の人生の終わりに他の家庭廃棄物と一緒に処分してはならないことを示しています。マークされた場合、化学記号水銀、カドミウムや鉛バッテリーは、EC指令6分の2006における基準レベル以上の水銀、カドミウムや鉛が含まれていることを示しています。バッテリーが適切に配置されていない場合は、これらの物質は、人の健康や環境に害を引き起こす可能性があります。天然資源を保護するために、材料の再利用を促進するために、他の廃棄物から電池を分離し、私たちの地元、無料のバッテリーリターンシステムを介してそれらをリサイクルしてください。

Head Office

86 Cheonggyecheon-ro Jung-gu Seoul 04541 Korea
Tel +82.2.729.5277, 5254 Fax +82.2.729.5489
www.hanwha-security.com

Hanwha Techwin America

100 Challenger Rd. Suite 700 Ridgefield Park, NJ 07660
Toll Free +1.877.213.1222 Direct +1.201.325.6920
Fax +1.201.373.0124

Hanwha Techwin Europe

2nd Floor, No. 5 The Heights, Brooklands, Weybridge, Surrey,
KT13 0NY, UK
Tel +44.1932.82.6700 Fax +44.1932.82.6701

